

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・東部グループ（指定管理者：アメニス東部地区グループ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
1	猿江恩賜公園	江東区住吉二丁目、毛利二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスコートの照明灯について、ケーブルや安定器の経年劣化により不点灯が生じていたが、都と協議の上、計画的に修繕し、利用者の要望に迅速に対応した。</li> <li>・ツツジ、ヤマブキ、レンギョウ等背丈の高い低木を計画的に剪定することで、園内の見通しが改善し、公園の美観向上、治安維持に貢献した。</li> <li>・都民協働の取組においては、スクールパートナー活動や「ぶちボランティア」の受け入れを積極的に行い、公園の魅力アップに近隣企業等が寄与する場を提供している。また、近隣住民や来園者が参加しやすいイベント性の高い「防災フェスタ」を開催し、発災時の役割を周知した。</li> <li>・自主事業においては、「森の絵本」事業や、9日間で延べ12万人以上が参加した「スプリングフェスタ」など、来園者に好評なイベントを多数実施し、公園の賑わいを創出している。</li> <li>・各種スポーツプログラムの提供を通じ、スポーツ機運の醸成や公園を利用した健康づくりを推進するとともに、インタープリター号の新規導入や、池の清掃に合わせて「水の生き物観察会」を開催するなど、環境教育プログラムの充実にも取り組んでいる。なお、インタープリター号については、スケジュールを事前に周知するなど参加しやすい工夫をすることが望まれる。</li> <li>・地域コミュニティと協働で実施している防災訓練に、子供でも参加しやすいプログラムなどを加えて「防災フェスタ」として実施しており、継続して実施することが望まれる。</li> <li>・公園の歴史的背景や資源の活用、園内の文化施設やそれらを利用する団体等との連携など、公園の文化的な価値を高めるような取組にもチャレンジしてほしい。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、更なるスポーツ気運の醸成に期待する。</li> </ul>
2	亀戸中央公園	江東区亀戸八・九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段差や隙間のある石畳を、モルタルで補修し、年配の方や車椅子の利用者など、誰でも安心して通行できる園路を確保した。また、適切な樹木管理により、快適な空間が広がっており改善が図られている。</li> <li>・多目的広場における土日の利用調整に関して、定期的なミーティングを重ね、休日の団体利用を半分に留めることについて利用者からの理解を得るなど、施設の適正管理を行っている。</li> <li>・自主事業においては、「蟬の羽化観察」が募集開始から3日で定員の30名が埋まり、秋に開催した「どんぐりまつり」では延べ760人が参加するなど、幅広い世代が楽しめる人気のイベントを継続的に実施している。</li> <li>また、利用者からの要望を取り入れた「春のリース作り」の開催や、木のモノ作り体験の実施（38家族115人が参加）など、環境教育プログラムの充実を図り、自然や緑に触れる機会を提供している。</li> <li>・季節のワークショップや自然体験プログラムを頻度多く実施することにより、定例化が図られ多くの参加者を得ていることは評価できる。</li> <li>・園内の豊かな緑、カメラなど魅力を入口でも感じるような工夫や、公園のメインエントランスの演出（例えば、ハンギングバスケット）などにより、丸八通り通過者の関心や興味を高め、園内に誘導する工夫が望まれる。</li> </ul>
3	尾久の原公園	荒川区東尾久七丁目、町屋五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌中のダイオキシンの配慮して掘削しないように留意しつつ、1年を通して彩り豊かな花を楽しめるように花壇の管理を行った。</li> <li>・じゃぶじゃぶ池について、循環ポンプのメンテナンスを定期的に行う等、水質を常に維持し運用した。</li> <li>・昨年度と比較して、利用者満足度が向上したことは、苦情への適切な対応や施設清掃の徹底などの結果と考えられ、成果が見られる。</li> <li>・自主事業においては、社会関係団体と連携した「むかし遊びおもちゃクラフト」の実施や、地元商店と連携した「こばらマルシェ」の展開により、公園の利用促進を図った。「マルシェ」については、地域の参加を促して実行委員会方式とするなど、参加団体を増やすための検討も望まれる。</li> <li>・都民協働の取組においては、荒川区やボランティアと連携した「ライトトラップを用いた夜の昆虫観察会」を実施するなど、親子で楽しめる学びの場を提供した。</li> <li>・「七夕飾り」や「ペットマナーアップキャラバン」といった従来からのイベントだけでなく、公園の特性を踏まえた魅力向上の新たな取組が実施されることを期待する。</li> <li>・イベント等の実施とともに、公園自体の特徴を際立たせるために、より自然を意識でき、昆虫等の多くの生物を見られる環境を整えていくことが望まれる。また、こうした取組により若年層の来園を促すような工夫を期待する。</li> </ul>

4	東綾瀬公園	足立区東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積雪等の異常気象発生時は、事前事後の迅速な点検を実施する等、園路及びスポーツ施設の早期復旧に努め、利用者の安全に配慮した管理を行った。</li> <li>・区立保育園の園内移転に伴う問い合わせへの対応や、移転工事開始後の安全確保への配慮等、近隣住民の要望等に迅速に対応し、適正な施設管理を行った。保育園とのあるべき共生関係の構築を期待する。</li> <li>・関係機関（警察・消防・近隣施設・自治会）を集め、公園主導による情報交換会を初めて実施した。公園が多く住宅に面していることから、犯罪対策など防犯に関する情報の共有や、公園利用に関する意見交換、各団体との連絡方法の再確認などを行い、公園を中心として地域コミュニティの連携を図っている。</li> <li>・ボランティアによる花壇づくりは、公園管理者の適切なコーディネートにより、各団体ともに活動回数が多く、バラ花壇の整備が進むなど活発に活動している。</li> <li>・スクールパートナー事業として特別支援学校や福祉施設の計画的な受入れや、大学と連携したオフスクールパークでは、むかしあそびなど各プログラムを通して、子供、大学生、高齢者といった普段交流のない世代が関わる場を提供し、利用促進を図った。オフスクールパークは、公園の利用者層拡大につながる取組であるため、地域の子育て世代へ積極的に参加を呼びかけるなど、更なる事業展開を期待する。</li> <li>・自主事業においては、インタープリターによる昆虫観察会、昆虫標本作り、樹木観察会、どんぐりクラフトや、「オータムフェスタ」の開催（参加者2,300名）など、様々な環境学習プログラムを提供することで、多くの来園者に公園の持つ自然の魅力を伝えている。</li> <li>・「七夕飾り」や「ペットマナーアップキャラバン」といった従来からのイベントだけでなく、公園の特性を踏まえた魅力向上の新たな取組が実施されることを期待する。</li> <li>・様々な取組を行っており、グループ内の基幹公園としての役割をもつ公園と考えられるため、管理運営すべてにおいて、他の公園より一段上の水準を確保するよう努めることが望まれる。</li> </ul>
5	中川公園	足立区中川五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理所前のグラウンド利用者を中心に、快適な公園づくりについて話し合う場を設け、巡回・維持など快適な公園のために管理者が日頃行っている取組を理解してもらい、利用者からも協力してもらうよう情報共有が図られた。</li> <li>また、犬のノーリード解消の一助として、犬の散歩の常連者達を集めた意見交換会を初めて実施するなど、快適な公園づくりに向けた利用調整を行っている。</li> <li>・管理所の裏庭を開放し、皇帝ダリアが楽しめる場を設けた。来園者や近隣保育園に声掛けをして皇帝ダリアを見てもらうとともに、成長していく様子をホームページで発信するなど、背が高く成長する皇帝ダリアにより新たに公園の見どころを創出した。</li> <li>・自主事業においては、「森の絵本」事業や、草笛教室（参加予定者30名に対して172名が参加）の実施、近隣小学校と協力して絵画コンクールを開催するなど、子供から高齢者まで幅広い層が楽しめる企画の充実を図っている。今後も、地域とのふれあいを広げるための様々な工夫にチャレンジすることが望まれる。</li> <li>・公園の持つ特徴である「モミジ」に着目し、「もみじ観察会」の実施など、PRに努めている。季節感が感じられる企画が多く評価できる。</li> <li>・「七夕飾り」や「ペットマナーアップキャラバン」といった従来からのイベントだけでなく、公園の特性を踏まえた魅力向上の新たな取組が実施されることを期待する。</li> </ul>
6	大島小松川公園	江東区大島九丁目、江戸川区小松川一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由の広場の大きな花壇のリニューアルに向け、不要な花の除去や除草、散水栓の増設、ネモフィラとナノハナの播種を行うとともに、花壇管理の新規ボランティア団体を立ち上げた。</li> <li>・わんさか広場入口および風の広場における六価クロム浸出への対応として、日々の点検や洗浄、汚染用水排水管の高圧洗浄等を行い、公園利用者の安全安心の確保に取り組んだ。利用者の安心安全に欠くことのできない管理であり高く評価する。</li> <li>・都民協働事業として、NPO団体や公募ボランティアと連携して、外来種の性質をレクチャーし、駆除する「ワルナスピ駆除大作戦」として実施した。広場にかかる課題を協働イベントとして解決に取り組んでいる。</li> <li>・自主事業においては、天体に関する講義や天体望遠鏡の活用が学べる「星空観察会」など、広い広場を持つ公園の特性を活かした自然体験プログラムの充実を図った。</li> <li>また、継続実施の「アウトドアフィットネス」は、要望のあった、子供向けのスポーツプログラムとして「親子かけっこ教室」を追加し、公園の利用促進を図っている。</li> <li>・「七夕飾り」や「ペットマナーアップキャラバン」といった従来からのイベントだけでなく、公園の特徴である広大な広場の利用可能性をさらに追求するなど、更なる魅力向上に向けた取組が展開されることを期待する。</li> </ul>
7	宇喜田公園	江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理所が無い場合、大島小松川公園管理所による頻度の高い巡回や利用指導、軽飲食販売のケータリングカーをサテライト管理所として対応する等、利用者の安全安心を確保するべく体制の整備を行った。</li> <li>・「ペットマナーアップキャラバン」や「ワンちゃんマナーアップ教室」を実施し、ペットマナーの改善を啓蒙することで、快適な公園利用に向けた環境整備を進めた。</li> <li>・公園主導で立ち上げたハープボランティアは、近隣施設を活用したミーティングの実施や、土の入れ替えや苗の植え込みによるハープ花壇へのリニューアルを進めるなど、公園の見どころづくりに積極的に取り組んでいて評価できる。</li> <li>また、花壇づくりだけでなく、ハープを活用したプログラムなど今後の展開が期待される。</li> <li>・「ペットマナーアップキャラバン」といった従来からのイベントだけでなく、公園の特性を踏まえた魅力向上の新たな取組が実施されることを期待する。</li> </ul>

グループ全般

- ・事業計画に掲げる「TOKYO PARK TRIP」の実現に向けた3つのステップを着実に進めていることは評価できる。
- 特にインタープリター号を導入した自然教育プログラム展開は今後に期待ができる。ビフォーアフターを意識して整備された樹林地のさらなる活用に期待する。7公園の利用者数が天候不順などの条件の中10%以上アップしたことは大いに評価したい。
- ・公園ごとに将来像を設定し、テーマを設けて公園の魅力の発信に努めており良好な管理が行われている。また、インタープリター号の導入など情報発信のための新たな取組を行っており、今後の展開に期待が持てる。地元企業との連携により清掃活動や花壇管理を実施している点は評価できる。
- ・近隣住民やボランティアが参加できる取組が進んでいることは評価できる。更に多くの参加者が創造力を発揮できるような取組や手法を模索することが望まれる。
- ・定例化されたイベントやボランティア活動などの個々の取組から、さらに一步広げた取組やそれぞれがつながりがあるイベントへ、また、イベント終了後もその成果が残るものへと充実させていってほしい。
- ・グループ全体として安定した管理運営が出来ていると言えるが、公園の特性を踏まえた新たな魅力向上の取組が期待される公園も多いので、今後の積極的なチャレンジを期待する。
- ・各公園の特性を踏まえて、都民協働による花壇づくりやアンケート調査結果を踏まえた業務改善、環境教育プログラムの充実、公園を活用した健康づくりなど、意欲的な取組を積極的に展開している点は高く評価したい。各公園において更なる魅力向上に向けた不断の改善が行われることを期待する。

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・南部グループ（指定管理者：東京南部パークスグループ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
8	日比谷公園	千代田区日比谷公園	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察と連携し、デモ団体や占用許可イベント等における指導を徹底するとともに、巡回を強化し園路の汚損等があった場合は復旧を指示するなど、施設の適正な管理に努めた。また、都と協議の上、既存の喫煙所を全て撤去し、設置場所や方法を工夫して2か所に集約した。</li> <li>・区や地域の防災隣組と連携し訓練等を行ってきた実績から「平成29年度千代田区防災貢献者」に決定した。</li> <li>・利用者からの要望が高かった思い出ベンチの補修について、7か年計画を前倒し実施した。</li> <li>・自主事業において、ボランティアとともに「雲形池」の水を抜き、池の中の生き物を捕獲・調査し、水質改善に取り組んだ。小学校や大学にも参加を呼びかけ、約100名の協力を得ることができ、テレビ番組で特集が組まれるなど、多くの方に公園の魅力を発信した。一過性に終わることなく、今後とも地道に取組を継続していくことを期待する。</li> <li>・「HIBIYA AKARI TERRACE」では、ライトアップ期間を拡充するとともに、第一花壇のシュロヤバラなど植物にもライトアップを実施し、利用者サービスの向上に取り組んだ。</li> <li>・企業CSR等と連携し、花壇の植栽を実施したほか（お花いっぱい事業）、第二花壇の芝生エリアを開放し、近隣のカフェと連携してコーヒーマスターのテイストリング体験を実施し（Shibafu de Café）、公園の新しい魅力を創出した。「Shibafu de Café」は、利用者のニーズが大きい取組と考えられ、開催頻度を上げる検討についても期待する。</li> <li>・都心中心部に存在する公園として、デモ・集会、大規模なイベントなど様々な形で利用され、他の公園には無い管理運営上の課題が発生する公園であるが、その中で近隣企業等と連携した取組やテレビ企画への対応など、様々な取組を展開したことは評価に値する。</li> <li>・110年の歴史を踏まえた公園の魅力を周年イベントとしてだけでなく、園内各所で実感する演出を考えていかれることを期待する。今後に残す文化遺産と、現代の新たな公園モデルの両面から公園の価値を高める検討を期待する。</li> <li>・都心の代表的な公園であることから、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて関連イベントが今後より一層実施されていくことを期待する。</li> </ul>
9	芝公園	港区芝公園一・二・三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦災イチョウ」について、樹木点検を実施し、診断結果に基づき軽減剪定や踏圧防止のためのロープ柵の設置等を行い、成育環境の整備を促進した。</li> <li>・蜂刺され事故発生時に迅速な初期対応を実施（早急に現場を閉鎖）するとともに、巡回を強化して再発防止に努めた。</li> <li>・元オリンピック選手を講師として招聘した初開催のジョギング教室では、日常動作からジョギングやランニングに繋がるレクチャーが初心者にも馴染みやすく、参加者からの高い満足度が得られ、スポーツの観点から公園の利用を促進し、さらに利用者の裾野を広げることに繋がった。</li> <li>・外国人への案内業務で使用しているタブレット端末をイベントでも活用し、「梅まつり」では英語に対応可能なガイドツアーを外国人にも親しみやすい内容で開催し、アメリカ、イタリア、フランス、オーストラリア等様々な国の方に公園の魅力を発信できた。</li> <li>・クリーン&amp;グリーン活動（桜花期対応）については、夜間警備委託の時間帯を拡大し、ゴミの放置が多い地区の巡視を強化するとともに、清掃ボランティアと連携したマナーアップキャンペーンを実施し、桜花期のごみは対前年比63パーセントの削減となった。</li> </ul>
10	青山公園	港区六本木七丁目、南青山一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南地区のトイレに花木や虫などのデザインがされた防臭シールを貼り、温かみのあるデザインとした。防臭効果に加え、昼間も薄暗い屋外トイレを明るいイメージに変えたことで、近隣の保育園からも好評を得た。</li> <li>・サービスセンターから積極的に地域の団体に働きかけ、協働でデザインにこだわった花壇を作成した。港区の広報誌に取り上げられ、参加希望の方から問い合わせが来るなど、多くの反響があった。デザイン性の高さが都心の街である青山らしさにも繋がっており、評価できる。</li> <li>・継続的な取組として、麻布消防署等と協働して「合同震災訓練」を、近隣保育園等と協働して「あおぞら防災訓練」を実施した。こうした関係機関との連携による地域の防災力向上に向けた取組が評価され、赤坂消防署から感謝状が授与された。子供たちを意識して、様々な取組の軸に据えることで公園の顔が見えてきたことは高く評価できる。</li> <li>・毎月発行している「AOYAMA PARK通信」は、サービスセンターからの情報発信だけでなく、公園と地域住民とが情報共有を図るためのツールとして活用されている。</li> <li>・公園で行うイベントについて、「どんどろ工作教室」、「七夕イベント」といった従来のものだけでなく、公園の特性を踏まえた魅力向上の新たな取組が実施されることを期待する。</li> </ul>

11	林試の森公園	目黒区下目黒五丁目、品川区小山台二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からのじゃぶじゃぶ池の開設期間延長の要望に対応し（開設期間を10日間延長）、感謝の声が寄せられるなど、利用者サービスの向上に向けた管理運営を行っている。</li> <li>・生物多様性を推進させる取組として、保全方針に基づく試行的管理を開始しており、今後のモニタリングの成果に期待する。</li> <li>・「林試の森フェスタ」は、地域のボランティア団体等と連携し、近隣約100件への訪問や、駅舎等にポスターを掲示するなど広報に力を入れた結果、来場者数は3万人台を突破。公園が住民や自治体、企業を繋ぐ役割を積極的に果たし、公園の賑わいを推進した。イベントの開催を通して、地域に愛される森として親しまれている。</li> <li>・都民協働については、地域団体と連携した「森のアトリエ（親子のできる工作教室）」を定期的実施（年36回）するほか、「樹木観察会」を年6回実施した。さらに、タブレット端末を用いた説明による「園長と歩く珍しい樹木観察会」を実施、参加者の満足度を高めるとともに、実施概要をHPに掲載することで園内樹木の情報を広く発信した。</li> <li>・教養として樹木の理解を深める努力に加え、都心における「特有の空間」としての魅力をアピールしていき、国内のみならず海外からの訪問者を積極的に誘引する施策の検討も期待される。</li> </ul>
12	蘆花恒春園	世田谷区粕谷一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所開園に向けた、関係者との連絡調整や（車止めの鍵の貸し出し等）、地域住民に対する説明に協力するなど適切な対応を行った。今後も保育園との共生関係構築を積極的に取り組まれるよう期待する。</li> <li>・園内樹木への落雷事故が発生し、一時的に旧宅や記念館を閉鎖したが、被害状況の確認や復旧手配を迅速に行い、来園者の安全確保や閉鎖に伴う利便性低下を最小限に抑えた。</li> <li>・入口付近の玉砂利の園路は日頃から丁寧に維持管理されており、おもてなしの姿勢がみられ、評価に値する。武蔵野の歴史文化を感じさせる施設として、きめの細かい管理運営がなされている。</li> <li>・大学教授を招いての講演会や文学セミナー、蘆花旧宅を活用した観覧無料のかやぶきコンサート等を継続して開催しており、蘆花ゆかりの景観創出と相まって文豪公園の魅力向上に努めている。</li> <li>・蘆花記念館や旧宅のより一層工夫を凝らした活用を図り、公園の更なる魅力向上につなげていくことを期待する。</li> <li>・自主事業については、工作教室等の継続的な取組に加え、新規の取組として、一般社団法人日本スロージョギング協会と連携し、初心者向けのジョギング教室を開催し、文化財というイメージの強い公園ながらスポーツもできる開放公園としての認知度を高めることができた。ヘルスケアの観点から、開催頻度を上げ、なるべく広い層に浸透させていく検討も期待される。</li> <li>・雑木林に関して、「自然が残されている」という感想にとどまる一般の来園者もいるのではないかと思われる。どんな維持管理の手を加えることで蘆花が残したいと思った景観を作っているのかということ発信していくことが望まれる。</li> </ul>
13	祖師谷公園	世田谷区上祖師谷三・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体と連携して、樹木の検討会を実施。環境別ゾーン区分図を用いた公園の利用特性を紹介した結果、公園内の保存すべき樹木の提案をする上で役に立つとの意見があり、今後の協働による樹木管理の活動強化に結びついた。</li> <li>・サービスセンターから、園内の保育園に働きかけを行い、保育園付近に花壇（チルドレンガーデン）を設置し、同保育園の園児達と協働で花苗を植え付けるなど、地域コミュニティの構築を図ったことは高く評価できる。保育園や地域高齢者などを含めたコミュニティの場として活用されるよう更なる施策を工夫してもらいたい。</li> <li>・小学生を対象として園内の生き物や自然を体験学習する生物多様性環境教育プログラムを初めて実施しており、今後のプログラムの拡充に期待する。</li> <li>・子供向けのプログラムが充実しており、地域への広がり期待できる。</li> </ul>
14	日比谷公園大音楽堂	千代田区日比谷公園一丁目五番	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に対し、蓄積した管理ノウハウを活用した計画的な修繕等を行い、利便性の確保に努めている。</li> <li>・「日比谷音楽祭」（平成31年度から開催予定）に向け、日比谷公園内施設や近隣企業等関係団体の参画による実行委員会及び音楽関係者によるアドバイザーボードを組織し、事業内容の検討を着実に進めている。音楽堂に思い入れを持つ関係者の協力体制を築いている。成功を大いに期待する。</li> <li>また、平成30年度には「日比谷野音95周年記念事業」が予定されているが、これらに加え、施設の魅力向上に繋がる新たな取組が今後一層充実されていくことも期待する。</li> <li>・大音楽堂のパンフレットを作成し、周辺施設へ配布するとともに、申込み方法や使用料等必要な情報を効果的に掲載し、利用を検討されている方への情報提供を適切に行った。</li> <li>・日比谷公園で行っている都民協働事業のように、日比谷公園大音楽堂として、周辺地域、ボランティア等と協働での取組を進めることが望まれる。</li> <li>・利用者満足度調査の回答数が少ないため、対象の拡大などの工夫に努め、利用者の声を踏まえたサービスの向上を図られたい。</li> <li>・レガシーとしての価値を強調するだけでなく、古い施設からあえて新たな文化を発信するにはどのような施策が可能かという検討も期待する。</li> </ul>

グループ全般

- ・事業計画の基本理念の実現に向けた視点として掲げられている「公園のポテンシャルを生かした多彩なプロジェクトや多様な主体とのパートナーシップによる魅力アップ」の取組により、各公園の「顔」が見え始めており、一層の推進を期待する。
- ・予防保全的補修やクリーンアップ大作戦などの基盤的維持作業に注力していることは評価できる。
- ・歴史のある公園ならではの文化活動が、多くの都民の協力により進められている点が評価できる。
- ・日比谷公園においてテレビ番組と連携した自然観察会の開催など公園情報の発信に成果があり評価できる。
- また、東京駅周辺防災隣組との連携による防災訓練の実施など、地域特性を生かした防災の取組を進めている。
- さらに、ツツジによる新たなパークビュー創出の取組など公園資源の掘り起こしを積極的に行っている。
- ・それぞれの公園が地域を代表するような価値のある公園なので、定例的なイベントだけでなく、地元自治体所有の施設やまちづくり・景観・環境施策などとの連携を図り、公園から地域に広げるような取組を進めることを期待する。
- ・特に都心部の公園において、それぞれの歴史的、文化的、地理的な特性を活かし、更なる魅力向上を図られることを期待する。

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 都市部の公園・北部グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
15	戸山公園	新宿区戸山二・三丁目、大久保三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部署と連携し、継続的に園内滞留者への声かけを行い、平均滞留者数が昼9人（昨年度10人）、夜22人（昨年度27人）となったほか、自立支援を行った結果、2名が施設へ入所した。</li> <li>・元オリンピック競歩選手を講師に迎え初めて開催したジョギング教室は、飛び入り参加者を受け入れるなど、地域に開かれたイベントとなった。また、箱根山で早稲田大学茶道部の協力を得て実施した野点は、今年度から箱根山登頂キャンペーン（歴史ガイド）を同時開催し、両イベントにより当地の歴史と日本文化を深く理解していただく点で相乗効果が得られた。周辺大学や関連団体との協働により各種イベントが着実に充実していることは評価できる。</li> <li>・防災、災害共助の意識啓発イベント「しんじゅく防災フェスタ2017」の運営や、関係団体（消防、専門学校）と連携した初期消火訓練の実施、公園協会職員による防災施設運用訓練の実施など、地域の防災対応力の向上に寄与した。</li> <li>・日常的に公園利用の適正化を図る努力がされると同時に、様々な取組により歴史を活かした魅力づくりが進められていると感じられ、評価できる。</li> </ul>
16	善福寺公園	杉並区善福寺二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季の局地的な大雨により夜間に神社付近のクヌギが倒木した際、迅速に支障部を処理し、神社管理者との連絡により参道を通行止めしたのち安全を確保した上で開放するなど、適切な対応を行った。</li> <li>・トイレ等施設について、清潔さの維持の面で十分でない場面が複数回確認された。施設の清潔が保たれることは日々のことであり、たまたま遭遇した利用者の不快感は持続することを念頭に置き、きめ細かい対応が望まれる。</li> <li>・「自然観察会」では、新たに、近隣農業従事者の協力を得て、田植え体験を実施した。イベントを通じて田んぼ管理のボランティアが新たに結成され、地域との連携を深めた。</li> <li>・都民協働において、年間を通して開催した「ミニギャラリー作品展」では、塗り絵や自由に描ける壁を展示し、子供達に楽しんでもらえるような工夫を施した。</li> <li>・自主事業において、手ぶらで気軽に参加できる「写生会」は、新たにバスのポスター掲示や商店街へのチラシ設置などを実施し、参加者数が昨年度から約3割増加するなど、公園の賑わい創出に向けた取組を積極的に展開している。</li> <li>・地域協働プログラムとしての「善福寺公園探検隊」は、参加の裾野を広げ、公園の魅力を引き出す効果的な取組となっている。</li> <li>・四季を感じる演出や自然観察会等、継続的な取組が行われているが、これらに加え、今後、公園の特性を踏まえた魅力向上の取組、イベントの更なる充実が図られていくことが望まれる。</li> </ul>
17	浮間公園	板橋区舟渡二丁目、北区浮間二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入り口広場の放置自転車対策を継続して行っているが、4カ国語（日・英・中・韓）の禁止看板の設置や駐輪場の誘導等の結果、4月には一日当たり38台だった放置自転車が、9月には一日当たり7台にまで減少した。また、板橋区の花火大会開催時には園内の夜間巡回警備を実施し、事故等の防止に努めた。</li> <li>・自主事業において、今年度初の取組として、ジャイアンツアカデミーと連携して野球教室を開催し、多くの子供たちにスポーツに親しむ機会を提供した。</li> <li>・開園50周年を記念し、環境関係機関やNPO等の協力を得て、いきものがし、野鳥観察会、池周辺の清掃体験などを含む「浮間環境フェスタ」を開催し、公園の自然環境への関心を高めたほか、愛鳥家から寄せられた情報をもとに「平成29年度版野鳥カレンダー」を作成し、配布した。自然特性を生かした野鳥の情報収集と発信を、都民協働で進めている点が評価できる。</li> <li>・利用者満足度調査の結果が各項目で低下している。景観の魅力向上及びその更なるアピールとともに、各指標の向上に努められるよう望まれる。</li> </ul>
18	赤塚公園	板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、大門、赤塚四・五・八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈作業中、草刈機による飛石が近隣建物のガラスを破損する事故が発生した。石飛防止は草地管理の基本中の基本であり、原因究明を徹底し、公園全体の対応に活かすことも含めて再発防止に努められた（事故後、安全対策の徹底を図るとともに、職員に対し研修を実施する等、再発防止策を講じている。）。</li> <li>・陸上競技場について、不陸整正を行い安全に長く利用できるような環境を整えている。また、日頃から使用している近隣高校等がボランティアで維持管理に参加しており、作業を担うとともに管理に携わることで施設を大事に使用することを促す効果にも繋がっている。</li> <li>・ニンソウの保護活動や開花期のガイドツアーのほか、ボランティア団体との連携による「崖線歩きツアー」の初開催（ガイドを増員し小グループ化し丁寧な説明を実施）など、本公園の自然環境に関する情報発信と、自然環境の保存活動など、本公園の魅力や役割の発信に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・自主事業において、新たに元オリンピック選手を講師に迎え開催した「ジョギング教室」では、走りながら講師のアドバイスを受けられる内容が参加者から好評を得るなど、利用者ニーズに沿った企画の充実が図られている。</li> <li>・中世の城に関する小冊子（石神井公園と共同制作）を作成されたことは評価できる。今後のガイドツアー等への活用を期待する。</li> <li>・入園者数が大幅に減少しているため（対前年30%以上減）、原因を調べ対応策について検討されたい。</li> </ul>

19	石神井公園	練馬区石神井台一・二丁目、石神井町五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的にミシシippアカミミガメやブルーギル等の外来種を捕獲、駆除しており、池の環境改善に取り組んでいる。</li> <li>・ボランティア団体と連携して実施したクラフト教室「自然とあそぼう」では、幼児の一時預かりを実施し、小さな子供連れの方も楽しめるような工夫を施した。また、同時開催の「自然写真展」では、自然への興味や愛着が持てるような、魅力的な情報を発信した。</li> <li>・自主事業において、初めて野外ステージを活用して地元の若手音楽家によるコンサートを開催し、音楽を通じて公園の新たな魅力を発信した。本年度は試行としての実施であったが、コーヒーマスターの無料サービスの実施等が功を奏し、来園者がくつろげる空間を創出でき、約300人の鑑賞客に楽しんでいただいております、今後の一層の事業展開を期待する。</li> <li>・中世の城に関する小冊子の作成（赤塚公園と共同制作）や東京文化財ウィークにおける園内遺構ガイド、団体等からの要請による歴史ガイドなど、石神井城に関する歴史情報の発信に積極的に取り組んでおり、今後のガイドツアー等への活用も期待される。</li> <li>・公園の特徴である城址の歴史や湧水のある自然環境を生かした多様なプログラムを展開している。</li> <li>・利用者満足度が昨年度から大きく向上しており、様々な取組の成果と思われ、高く評価したい。</li> </ul>
20	大泉中央公園	練馬区大泉学園町九丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防保全の観点から、排水ポンプの交換と制御盤の機器補修を実施し、施設の長寿命化を図るなど、施設の適正な管理を着実にやっている。</li> <li>・これまで整備に取り組んでいた「ちょうの里」について、その整備内容や園内でみられるチョウの写真などを掲載したガイド冊子を新規に作成し、公園の魅力発信に向けた取組を行っている。</li> <li>一方、「ちょうの里」をインターネットで検索しても情報がほとんど得られない状況であり、整備されたものの価値について、ガイド冊子だけにとどめず、広く伝える方法を検討するとともに、ちょうの生育に関する調査や環境モニタリングなど、一過性とならない継続的な事業展開を期待する。</li> <li>・都民協働の取組において、プレイパーク団体と協力して、園内のマンホールトイレの位置や使用方法を解説したイベント「マンホールトイレをのぞいてみよう」を実施し、公園の防災機能を普及啓発した。</li> <li>・蝶と野鳥をテーマとした自然環境の保全やセルフガイドツールの小冊子の作成、自然観察会などにより、公園の特色づくりに取り組んでいる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に掲げる「築く」「磨く」「輝く」の実施内容は網羅されているが、今後はその結果を利用者にどのように還元するかストーリーをはっきり示すことを期待する。</li> <li>・地域の子供達や外国人を含めた防災訓練の実施や石神井公園三宝寺池における外来生物除去の取組などが成果をあげており評価できる。</li> <li>また、戸山公園の箱根山登頂キャンペーンなど、外国人利用者も意識した取組により情報発信を積極的に行っており、評価できる。</li> <li>・豊かな地形、水源の生み出す自然環境や歴史環境の魅力を掘り起こしながら、市民も参加して公園の魅力づくりに取り組んでいる点が評価できる。</li> <li>・公園の立地する地域の資源（文化、歴史、環境、産業等）との関係性を高め、公園内にとどまらない、地域に広がるイベントやプログラムなどにも取り組んでほしい。</li> <li>・グループ全体として安定的な管理運営が出来ていると考えられる。公園の特性を踏まえ、魅力的な取組がより実施されるよう、今後新たな積極的チャレンジを期待する。</li> <li>・利用者満足度と利用者数との因果関係を明らかにされることも期待する。</li> <li>・また、管理に係る小さなミスが散見される。グループ全体の士気低下につながらないよう適切な対応をお願いしたい。</li> <li>・地域の安全・安心への寄与、魅力ある公園の次世代への継承、多様なニーズへの的確な対応に地道に取り組んでいる。今度とも基本理念の達成に向け不断の改善に取り組まれない。</li> </ul>



平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 武蔵野の公園グループ（指定管理者：西武・武蔵野パートナーズ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
21	武蔵野公園	小金井市前原町二丁目、中町一丁目、東町五丁目、府中市多磨町二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの名所復活計画のもと公園入口のシンボルとなるサクラの植樹を拡張し、既存の根を傷めないよう人力掘削工法により通気性の改善と養分補給を行い、舗装下のサクラの生育環境を改善した。引き続き、高い植栽管理技術による着実な取組が期待される。</li> <li>・市民団体と協働でカンタン保全地のモニタリングや保全管理活動を実施し、絶滅危惧種8種を新たに確認するなど（合計96種）、生物多様性の向上に向けた取組を着実に進めている。</li> <li>・都民協働の取組として、自然環境の保全をテーマに懇談会を実施している。公園から近隣学校の父母会や自治会にも声掛けをし、参加団体数は10団体から17団体に増加し、多様な公園管理の実態への理解や各団体の活動状況の共有が進んだ。</li> <li>・園地の一部に都道整備が計画されていることに伴う近隣住民や自然保護団体からの環境保全に係る公園管理への要望などに丁寧に対応している。</li> <li>・自主事業として実施している開催3年目の「はけのおいしい朝市」は、1日で過去最高の5,394人の参加となり、質の高いワークショップやパークレンジャーによるさくらガイドウォークなどおしゃれな空間演出で新たな魅力を創出している。</li> <li>・地域の父母会、自治会など地元団体に積極的に働きかけ公園管理運営に地域の意見、ニーズを反映させるパークコーディネーターの取組は、現場の課題を的確に把握し改善策を実行している点で高く評価できる。</li> <li>・今後は、利用者満足度調査の結果を踏まえた取組を実施するなど、更なるにぎわい空間の創出を期待する。</li> </ul>
22	浅間山公園	府中市浅間町四丁目、若松町五丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度にボランティア団体と共同で作成した「保全管理ガイドライン」に基づき、東京農工大学の協力により保全管理を実施し、雑木林の林床環境の改善が確認できた。多くの市民団体、学校団体等の参加を得ており、ボランティアとの共有の上で協働による保全活動が行われている。</li> <li>・雑木林の林床環境の改善の取組により、ムサシノキスゲは4.2倍の30,581株、キンランは2.4倍の4,331株、ギンランなどの希少種も飛躍的に増加しており、着実に生態系の復元が図られている。</li> <li>・台風の接近前に、公園に隣接する明大グランド沿い道路や飛地公園周りの側溝清掃を実施し、地区外への雨水流出を最小限に留めた。</li> <li>・初めて実施した「野鳥観察マナーアップキャンペーン」では、ポスター掲示やパンフレットを配布し、観察の際の留意点を周知するとともに、市民団体等の協力を得て、マナー遵守の機運を醸成した。</li> <li>・「第24回キスゲフェスティバル」を浅間山を考える会と共催し、府中市報、都広報、新聞等多くの媒体に掲載されたことで期間中7,912人の参加を得た。「山野草と野鳥の写真展」や「樹木医による植物観察会」を実施し、幅広い層に公園の魅力を発信した。今後も引き続き、更なる魅力向上に向けた取組が実施されることを期待する。</li> </ul>
23	野川公園	調布市野水一・二丁目、小金井市東町一丁目、三鷹市大沢二・三・六丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺崖線周辺に見られる武蔵野らしい雑木林環境や草地環境が色濃く残る生物多様性スポットで外来種の選択的除草などの保全管理を継続的に実施し、絶滅危惧種3種を新たに発見するなど（合計96種）、希少種の保全に資する管理を着実に進めている。</li> <li>・防災キャンペーン「そなえパークの日」を開催し、楽しみながら防災について学べるプログラムを実施し、来園者に対して防災意識向上の機会を提供した。</li> <li>・公金の取り扱いについて、年度を誤って納入する事務処理上のミスが発生した（その後、都で年度更正を行っている。）。今後は、歳入徴収にミスのないよう、再発防止に努められたい。</li> <li>・都民協働の取組として、「緑の愛護ボランティア」と植物観察等の各種イベントを連携して実施しているほか、自然観察園での自然環境保全作業などを連携して行っており、日頃から意見交換・情報共有を行うことで台風や大雪の後に落ち枝の処理や除雪作業が必要となった際もボランティアと協働の作業で迅速に対応した。</li> <li>・隣接するアメリカンスクールの総合学習授業を受入れ、バッタの追い込み漁等についてレンジャーが通訳を介さず直接解説することで、公園の魅力や自然の豊かさを海外の方に広く知ってもらう機会を提供したことは、新たな公園利用の取組として期待できる。</li> <li>・自主事業では、スポーツイベント「チャレンジキャラバン」の参加者増、武蔵野の地域特性を活かし、自然や文化を学ぶことができる「むさしのカレッジ」の拡充、自然観察センターの展示内容のリニューアル、各種専門家（植生学、生物多様性、野鳥、染物、写真）と連携した講座の開催など、地域住民の関心が高いスポーツ体験や自然・文化を学ぶ機会を提供している。</li> </ul>

24	狭山・境 緑道	小平市、東村山 市、東大和市、 西東京市	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑道の特性である隣接民地等からの要望や歩行者と自転車利用者とのトラブルに対して丁寧に 対応している。緑道全線における越境枝、枯枝、掛かり枝の一斉点検を実施し、剪定計画の策定 や、陸橋の影となり路面凍結していた自転車道部分の凍結処理を行った。</li> <li>・緑道ガーデンパートナー制度により、ガーデナーの指導のもと、ボランティアによる魅力的な 花壇づくりが実現しており、参加者に充実感を与えるとともに、地域住民の要望、意見を踏まえ た利用ルールに基づく緑道の適正管理が行われている。</li> <li>・占用許可の窓口事務において誤って都道部分まで含めて受け付ける事務処理上のミスが発生し た。道路と公園の財産境は把握しておくべき基本的な事項であるため、再発防止に努められたい (その後、東京都で歳入還付を行っている。)</li> <li>・緑道ならではの舗装された道を活かしたノルディックウォーキング教室の開催は、緑道の魅力 を広く発信するとともに、地域の健康増進、スポーツ振興にも寄与した。</li> </ul>
25	玉川上水 緑道	福生市、昭島 市、立川市、小 平市、三鷹市、 武蔵野市、杉並 区	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中豪雨等による園内雨水の緑道隣接地や玉川上水への流出に対し、迅速な応急措置や、関係 部署との調整を適切に行うとともに、通学路となっている区間について、支障となる雪を除去し 融雪剤を散布して通学の際の安全確保や、東京都に頻繁に入る市民からの要望に対して迅速に対 応した。</li> <li>・樹木や刈込みの管理等に関する利用者満足度が低かったことを踏まえて、今後の改善に図られ たい。</li> <li>・小平市区間において、関係団体（自治体、市民団体、沿道住民）との情報連絡会を開催し、意 見や要望を緑道の管理（樹木管理、清掃等）に反映させている。</li> <li>・継続して実施している小学校の総合学習の受入れについては、年間を通じた総合プログラムと して体系化することで学習効果が高まり、地域の自然への理解と愛着が一層深まる場となった。 今後は他地域からの受入れ実施も検討するなど、更なる充実を期待する。</li> <li>・パークレンジャーが市民団体主催の講演会で玉川上水の果たす役割などを解説し、玉川上水の 魅力を多くの方に広く発信した。パークレンジャー、キッズレンジャーの活躍で、市民や学校主 体の充実した取組が育っている。</li> </ul>
26	武蔵国分 寺公園	国分寺市泉町二 丁目、西元町一 丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場や園路、トイレ等の清掃がきめ細やかに行われており、日常の管理水準の高さがあらわれ ている。武蔵野の公園の基幹的な役割を担い、様々なイベント企画を展開する中であっても、日 常管理が行き届いていることは高く評価したい。</li> <li>・国分寺崖線周辺に見られる武蔵野らしい雑木林環境や草地環境が色濃く残る生物多様性スポ ットでモニタリングと保全管理を継続的に実施し、絶滅危惧種3種を新たに発見（合計48種）、調 査及びモニタリング箇所を増やすなど、希少種の保全に資する管理を着実にやっている。また、 特定外来生物のアライグマを初確認し、防除のための情報収集を行った。</li> <li>・樹木医、技術士、1級造園施工管理技士が公園スタッフと公園の景観診断を行うランドスケ ールパトロールを年2回実施。景観の向上とともに樹木の密度や設計意図を踏まえた植栽の姿を認 識し、美しく風格のある公園づくりを行っている。</li> <li>・親子世代に向けたイベント「あそぶの森」の実施や、多様な世代にボランティア活動の楽し さを提供するなど、公園の賑わいを創出している。公園が地域活性化の拠点となり、また多世代 交流の場となる様々なイベント企画が展開されている。</li> <li>・20以上の団体とともに企画運営する「ぶんぶんウォーク」では公園が地域活性化の拠点とな った。また、市民の提案を実現する「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」では、 様々な企画を展開し多世代交流の場を提供し、公園利用を促進している。こうした市民参加プロ グラムについての技術が向上しており、様々な仕掛けにより大きな効果を上げている点は評価で きる。</li> <li>・公園開園15周年に併せて、地域のデザイナーと協力して公園の魅力をデザインに取り込んだ缶 バッジやオリジナルてぬぐいを制作して公園をPRするとともに、「公園でみられる全12種類の動 植物」をデザインしたオリジナルレジャーシートを作成し、イベント等で貸し出すことでゆった り過ごせる空間の演出を行った。</li> <li>・都市公園の持つ可能性を全国に発信するベストプラクティス公園を目指し、高いモチベー ションを持ち続けていくことを期待する。</li> <li>・きめ細やかな維持管理やニーズを捉えたイベントの展開等、高い水準での管理姿勢は評価でき る。今後は、障がい者を含めたスポーツの振興、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大 会関連イベントの実施等をより意識して、取り組まれることを期待する。</li> </ul>

27	東伏見公園	西東京市東伏見一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内全域が芝生地のため、頻度を高めた草地管理を行い、景観の質の高さを保っている。</li> <li>・管理所がないため、巡回を強化することで、夜間の犬のノーリードや違法駐車など近隣住民からの苦情等に適切に対応している。引き続き迅速な苦情対応、より一層の利用者ニーズの把握に期待する。</li> <li>・人気スポットのウッドデッキについて、全面塗装を行うとともに、フェンスの隙間から靴等が落ちないように落下物防止用ネットを設置し、施設の快適性や安全性を向上させた。</li> <li>・自主事業として子供向けスポーツ教室（はらっぱスポーツ教室、キッズ&amp;ジュニア走り方教室、親子スポーツ教室）やノルディックウォーキング教室、野鳥観察マナーアップキャンペーンなど様々な取組を実施し、公園の利用を促進するとともに、利用者満足度の向上を図っている。</li> <li>・立地を活かし、電車が見られる公園として西武鉄道と連携して駅ポスターやホームページに掲載し、公園のPRに取り組んだ。今後は、長いローラー滑り台など象徴となる施設や、良好な景観を有している点を更にアピールするなど、公園の認知度の向上に更に取り組んでほしい。</li> <li>・管理所のない公園であるが、指定管理者によるイベントの充実など公園の魅力向上のための取組を期待する。</li> </ul>
28	六仙公園	東久留米市中央町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間の花火や騒ぎ声への苦情に対して、巡回の強化や警察へ警備強化の依頼をした。また、多目的運動広場の防球ネットを高上げし、ボールがネットを越えないようにするとともに、横断幕を設置して注意喚起を行うなど、適正な管理を行った。</li> <li>・パークコーディネーターが地元自治体、地域関係者と広く連携し防災イベントを実施。地域のコミュニティの核として公園の機能を強化した。</li> <li>・地域住民で構成された実行委員会と「麦の収穫祭～東久留米まつり～」を開催し、地場作物の「柳久保小麦」を広く周知するほか、地元団体商店等の出展ブース、ステージイベント、ワークショップなど参加型のイベントを実施し、地域住民をつなぐコミュニティ形成の場を提供することができた。今後の更なる地域との連携に期待する。</li> <li>・自治体や地域関係者と連携して開催した「防災キャラバン in 六仙公園」では、今年度初めて事前に出展者説明会を行い、公園の防災上の位置づけやイベント目的、注意点等を共有し、当日のスムーズな運営につなげるとともに、防災に関する普及啓発を図った。</li> <li>・イベントに合わせて、ケータリングカーや地元飲食店による物販やカフェを実施するなど（むさしのマルシェ）、地域のニーズに合った事業を展開している点は評価できる。</li> <li>・管理所のない公園であるが、地域関係者や地元自治体との関係性を更に強化し、地域コミュニティに望まれる公園を目指していただきたい。また、巡回頻度を高めるなどし、引き続き迅速な苦情対応、より一層の利用者ニーズの把握に期待する。</li> <li>・前年度に比べて六仙公園に関する問い合わせ件数が4件から161件へと増加しており、公園に対する関心が高くなっている。今後は、そういった問い合わせ内容から公園の潜在的ニーズを汲み上げて、更なる施策の展開に繋げることを期待する。</li> </ul>
グループ全般			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に掲げる基本理念「人・自然・まちが元気になる公園づくり」を継承し、更なるステップアップを目指した目標「Chance in the Park - 多様な好機を公園づくりに活かす -」を掲げ、着実に実績を上げている点は評価できる。</li> <li>・地域団体・ボランティア等との連携、地道な植栽管理、自然環境保全、健康づくりなど、意欲的に様々な取組を展開しており、今後とも、理念達成に向けて不断の改善に取り組まれることを期待する。</li> <li>・各公園の特性を活かしながらグループ全体で管理運営を進めている点、さらに、公園だけに留まらず、武蔵野エリア全体のコミュニティ形成を意識している点は、今後の公物管理の方向性に合致しており、評価できる。</li> <li>・公園の有する自然資源の価値を高めるためには何をすべきかを明確にし、その成果を確認しながら、それを利用者にはわかりやすく伝える努力もしている点は評価できる。</li> <li>・コーディネーター、マネージャー、レンジャー、アドバイザーなど、市民参加にかかわる多様な職能を生み出し、それぞれにノウハウを積み上げており、市民との協働による公園の魅力づくりの効果が上がっている点は評価できる。</li> <li>・日常の管理運営、地域連携やイベントの企画など、公園の魅力向上に向けた取組は評価できる。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 多摩部の公園グループ（指定管理者：西武・多摩部の公園パートナーズ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
29	陵南公園	八王子市長房町、東浅川町	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全自動芝刈り機を導入することで、芝生の品質向上と夜間作業が可能となり、利用枠が最大20%拡大するなど、効率的に利用者サービスの向上に取り組んだ。今後は、他公園での導入も検討されたい。</li> <li>・修景池の管理において、夏季には子供たちが安心して水遊びができ、夏季以外はヤマアカガエルが生育可能な環境を整備した。</li> <li>・八王子市開催の「いちよう祭り」では、市に協力し、実施内容や安全管理について事前確認や協議を行うことで、当日のスムーズで安全なイベント運営に繋がった。</li> <li>・都民協働の取組として、学生ボランティアと連携した花壇整備等を実施している。学生ボランティア「陵南公園うるおし隊」は計25回のべ337人が参加し、花壇周辺の樹名板のリニューアルを協働で行うなど、ボランティア活動の場の提供とともに公園の美化にも繋げている。</li> <li>・第34回都市緑化はちおうじフェアのサテライト会場のイベントのひとつとして、「こもれびピクニック」の内容を充実して開催した。地域団体等による「ふるさと川まつり」との同時開催により、多くの人に公園で楽しく過ごしてもらう機会を提供した。</li> <li>あわせて、ガーデニング専門家による地域の植生や古い石などを生かした陵南庭花壇の一新や、市民参加による入口からの路傍花壇の植付けなどにより、会場演出と公園の魅力づくりに大きく貢献しており、参加した市民、訪れる市民の満足度も高めていることが評価できる。今後とも市民参加による継続的な管理が行われることを期待する。</li> <li>・犬のマナーアップキャンペーンの一環として「愛犬のしつけ教室」を初開催した。多数の申込みがあり、参加者から好評を得ているが、コミュニケーションをとり、マナーを守る大切さを直接伝えて普及啓発を図っている。</li> <li>・「Park SPORTS DAY」の実施や「キッズ&amp;ジュニア走り方教室」など、子供から大人まで多世代にわたって多くの公園利用者が参加できるスポーツプログラムを展開することで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を醸成しており、今後の更なる発展を期待する。</li> </ul>
30	小宮公園	八王子市大谷町、暁町二丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子利用者などに配慮し、雑木林ホール入口を引き戸へ改修する等、利用者目線での創意工夫に積極的に取り組んでいる。また、「全国都市緑化祭」の際には、環境整備を徹底し、来賓者の受け入れを滞りなく行った。</li> <li>・樹木の更新等の管理経緯や希少種等の植生変化を把握した雑木林管理計画を作成するとともに、希少種に配慮した生息地保全のための維持管理作業を行った。また、ハンノキ林など潜在植生の保護を目的とした樹林管理も実施している。</li> <li>・雑木林ホールにおいて特別展を2回実施し、常設展はデザイン性に優れた情報で更新を行い、環境教育の拠点として情報発信を積極的に行った。また、エントランスを切り絵で装飾し、明るく温かな空間演出を行うことで来園者が訪問しやすいつまみづくりにも取り組んだ。</li> <li>・パークコーディネーターによる要綱・活動のしおり等の作成により、解散した公園ボランティア「どんぐり会」を再構築した。また、公園ボランティアとの運営ミーティングの実施や、ボランティア内の交流を図る場を提供するなど、協働により環境保全活動を活性化させた点は評価できる。</li> <li>・「四季＊はなウィーク」内での花めぐりワードラリーや、ガイドウォークを実施するなど、パークレンジャー等による様々な里山体験を提供することで、自然豊かな公園の魅力発信している。</li> </ul>
31	滝山公園	八王子市高月町、丹木町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理や行事のため、市や地元の方などの車両通行が多い中、園内通行可能な園路が昭和53年に公園に移管されていたことを確認し、関係する12の機関等と調整を図り、園内における車両通行ルールを定めた。</li> <li>・大雨による土砂崩れが発生した際には、ブルーシート、フレコンバック、土嚢を設置し、迅速に対応することで、二次被害を防止するなど、適正な管理を行っている。</li> <li>・滝山公園懇談会など、地域に関係する団体との意見交換の場を設け、積極的な情報交換を行い、保全活動に活かすなど、都民協働による活動を効果的に管理運営に繋げている。</li> <li>・滝山公園の豊かな自然と、山城の歴史を体感できる「山城ガイドツアー」をボランティアと共催で実施し、歴史・自然資源を生かした公園の魅力アップにつながるプログラムを提供している点は評価できる。</li> </ul>

32	大戸緑地	町田市相原町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・崩落により通行不能となっていた園路について、都やボランティアと連携し、倒木処理や実生木の伐採等、早期復旧に向けた取組を進めた。また、大戸源流森の会と協力して、雑木林の手入れやハイキングコースの補修、落葉清掃等を行い、協働による雑木林管理が行われている。</li> <li>・両生類の生息環境を保全するため、池周辺に自生する実生木の移植や、産卵状況のモニタリングを実施しており、生息調査の結果はダムの建設計画の見直しに繋がるなど、生物多様性保全の取組成果が表れている。</li> <li>・初の大規模イベント「あつまれ！森キッズ」では、地元市や地域団体と連携し、自然の中で楽しめるプログラムを多数実施した。交通の便も悪く、周囲に市街地もない立地条件にも関わらず、多くの参加者を集めて賑わいを創出し、公園の持つ自然の魅力を広く発信した。今後は地域団体との連携を更に深め、イベントの開催頻度を高め、また、年間来園者数向上にむけた更なる利用促進策の展開を期待する。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に掲げる基本理念「きわだつ個性！地域を輝かせる公園づくり」のもと、各公園の立地特性や利用特性を的確に把握し、地域とのつながりを意識した公園づくりを展開している点は評価できる。今後とも理念達成に向け不断の改善を期待する。</li> <li>・指定管理期間2年目であるにも関わらず、事業計画に掲げる基本理念「きわだつ個性！地域を輝かせる公園づくり」に基づいた事業展開が図られている。どの公園も利用者やボランティアの印象がとて明く、楽しい公園をアピールできている。</li> <li>・新たに指定管理者となって2年が経過し、従来からのボランティア団体等との関係構築とともに、指定管理者のコーディネートによる新たな活動も進んでおり、公園及び地域の活性化に繋がる取組である。</li> <li>・地形的にも歴史的にも多様な特徴のある公園が集まっている。公園ごとにテーマを決めて、コーディネーター、マネージャー、レンジャー、アドバイザーなどのノウハウで、実に魅力的なプログラムを展開している点が高く評価できる。</li> <li>・日常の管理運営、地域連携やイベントの企画など公園の魅力向上に積極的に取り組んでいる点は評価できる。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 狭山丘陵グループ（指定管理者：西武・狭山丘陵パートナーズ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
33	狭山公園	東村山市多摩湖町二・三丁目、東大和市多摩湖四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園ボランティアと協働して、サクラの後継樹20本の植樹イベントを実施し、サクラ復活プロジェクトを周知した。また、樹木診断を実施し、大径木の土壌改良及び方杖支柱の設置や、透水性の悪い広場に排水トレンチの埋設及び改良土壌の敷設など、樹勢回復工事を施工することで樹木の適正管理を行った。引き続き、サクラ復活プロジェクトの着実な推進を期待する。</li> <li>公金の取り扱いについて、年度を誤って納入する事務処理上のミスが発生した（その後、都で年度更正を行っている。）。今後は、歳入徴収にミスのないよう、再発防止に努められたい。</li> <li>別のイベント参加者に対して、誤ってメールを送信した（個人情報に含まれておらず、その後、個人情報管理について、点検及び再発防止を徹底している。）。今後は、個人情報の適正管理の徹底を図られたい。</li> <li>親子で自然とふれあえるプログラムの充実や（「さやまKIDS DAY」、「親子自然遊びプログラム」、「さやまKIDS プログラム」）、開園80周年記念イベントでは、クイズラリー、写真展、「狭山公園未来絵図」の作成配布等、公園の魅力向上に資する様々な取組を行った。</li> <li>公園づくりに関する利用者との懇談の場を、従来のワークショップ形式ではなく、親子で楽しむガイドウォーク形式で行うことにより、生き物や林内照度の観察などの体験を通して本公園の森づくりに対する意識を高めることができた。</li> <li>「SAYAMA HILLS 3 DAYS」では、新規にツリーイング体験、レンタサイクル、薪割体験、ナイトシネマを実施するなど、過去最多の4,177人が来園し、公園の利用を促進した。開園80周年イベントとして新しい企画にチャレンジし、公園の魅力を広げることができた。来園者と共に祝い20年後に向けた夢を共有した一連のイベントは評価できる。</li> </ul>
34	八国山緑地	東村山市諏訪町二・三丁目、多摩湖町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンノキ林湿地における選択的除草（環境省の重点対策外来種であるキショウブの駆除）や、トウキョウダルマガエルの生息地となる踏切口広場前の湿地の維持管理といった、希少種の保全に資する管理を着実にやっている。</li> <li>関係団体と連携し、「狭山3公園管理運営協議会」、「狭山丘陵広域連絡会」、「八国山わいわいミーティング」を開催し、樹林地管理、外来種対策等の情報共有を図り、市民団体等から出た意見を管理運営に反映させている点は評価できる。</li> <li>「八国山わいわいミーティング」の開催など、市民団体との意見交換、情報共有を通して、新たな連携主体を掘り起こすとともに、多様なニーズを公園の管理運営に反映させている点は高く評価できる。</li> <li>消防、警察、災害ボランティア等と連携し開催した「八国山サバイバル防災DAY」においては、発災時を想定した体験型の企画を多数実施（火起こし体験、起震車体験、けむり体験等）し、過去最多の348人が参加するなど、これらの地域防災力向上に向けた取組は、防災の裾野を広げる機会となった。</li> <li>（一社）日本フォトロゲイニング協会監修のもと実施した「狭山丘陵フォトロゲイニング」では、周辺施設や自然の見どころをフォトスポットに設定し、狭山丘陵の自然や地域の魅力を発信した（7都県から162人が参加。）。</li> </ul>
35	東大和公園	東大和市湖畔三丁目、高木一丁目、狭山三丁目、奈良橋二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側の斜面中央部（4,000㎡）において、大径木の伐採と笹刈りを実施することで、明るい林床を確保することができ、長年の課題であった近隣住宅の日照が改善するとともに、雑木林の再生やアカマツ実生木の生育環境が向上した。</li> <li>狭山公園友の会が活動している森のあそび場に関して、友の会との意見交換や市民参加による「わいわいミーティング」により、森のあそび場の将来像と目標環境、樹林地管理方針を取りまとめ、今後の活動の方向性を明確にすることができた。都民協働において、参加者の意欲や工夫を引き出し、利用者の共感を得ている点は評価できる。</li> </ul>

36	野山北・六道山公園	武蔵村山市本町三・五・六丁目、三ツ木、岸、瑞穂町石畑、殿ヶ谷、高根	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湿地、雑木林、草地において、継続的に協働して、掘削作業や選択的除草による管理及び観察を行い、アカマツの実生育成、センブリの保全、ミゾコウジュ自生エリアの拡大、ヒロハイヌノヒゲやオモダカの確認、オオニガナの開花株数の増加が確認されるなど、生物多様性の向上を図っている。</li> <li>・選択的除草により希少種の保全や優先保全対象種の生育環境を守ったことは高く評価できる。また、ボランティア団体との活発な交流、連携が図られている。</li> <li>・パークレンジャーによる様々な里山体験プログラムの展開や、キッズレンジャーの養成を開始して好評を得るなど、雑木林や里山の魅力を効果的に発信している。</li> <li>・都民協働の取組として、ボランティアコーディネーターを配置し、ライフスタイルや興味に合わせた参加を可能とすることで463名の多世代がボランティア登録している。また、秋祭りでは初めて公園ボランティアが実行委員会を立ち上げ、企画運営を行い、関係団体（立川青年会議所、武蔵野美術大学等）との連携の輪を広げるなど、自主的・自発的な活動に発展している。幅広い年代のボランティアの参加による様々な取組が実施されており、充実が図られている点は高く評価できる。</li> <li>・自主事業の取組として、アウトドア関連メーカーと連携したデイキャンプ「Satoyama Life Camp」を初開催し、参加者はアウトドア体験から里山の楽しみ方を学ぶことができた。</li> <li>・ボランティアコーディネーターのノウハウが蓄積され、幅広い年代のボランティアの参加による、様々な取組が実施されており、費用対効果という点でも高く評価できる。</li> <li>・今後は、外国人観光客の誘致につながるようなインバウンド拠点としての取組を期待する。</li> </ul>
37	中藤公園	武蔵村山市中央四・五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園2年目の公園であり、昨年度から水準どおりの日常管理を着実にやっているが、今後の知名度の向上、公園の魅力や公園の楽しみ方などの発掘と普及啓発の促進が期待される。</li> <li>・パークレンジャーによるガイドウォークでは、公園周辺の人の利用の歴史や、里山の生きものについて説明をした。公園自体に初めて訪れた参加者が多かったが、公園のこれからの展開なども伝え、今後も公園を訪れてもらえるよう取り組んでいる。今後は、ガイドウォークで得た成果が公園管理に生かされることを期待する。</li> <li>・ホームページの訪問者数が年間約3,600件あり、情報発信の効果が上がっている。</li> <li>・軽便鉄道の活用や近隣の歴史遺産とタイアップした公園の魅力発信を検討するなど、公園の利用が進む取組を期待する。</li> <li>・公園利用者の声を踏まえた意欲的な管理運営による、今後の公園の更なる発展に期待する。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に里山公園としての取組を幅広く実施しているが、更なる取組として「公園内ステイ」などの検討も行っているなど、指定管理者の意欲的な取組もあり、今後とも新しい里山公園の可能性を広げていくことを期待する。</li> <li>・里山づくりの体験プログラムのノウハウが蓄積され、観光的な体験としても発信できる施設となってきた。地域の活性化に貢献する公園の管理運営として評価できる。</li> <li>・事業計画に掲げる基本理念「持続可能な社会に貢献する公園づくり」のもと、里山の自然あふれる丘陵地公園の特性を生かしながら、各公園において地域住民やボランティアとの協働による管理運営を展開しており、今後とも基本理念の達成に向けた不断の改善を期待する。</li> <li>・野山北・六道山公園における多数のボランティアと連携した生物多様性の取組は評価できる。キッズレンジャーの育成は今後の公園ファンの確保につながる事業である。また、特に企業と連携した自主事業の取組についても評価できる。</li> <li>・「わいわいミーティング」など利用者や地域からの意見を得た後、公園管理にどう反映し、どんな成果に繋がったかを利用者や地域へ返していくことも重要である。イベントに終わらないよう、さらなる展開を期待する。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 多摩丘陵グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
38	長沼公園	八王子市長沼町、下柚木	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丘陵地レンジャーと丘陵地ボランティアとともに計画的に開花や播種時期に合わせたきめ細やかな下草刈や選択的除草を行い、四季折々にジュウニヒトエ、キンラン、ヤマユリ、オカトラノオ、ツルニンジン、ヒヨドリバナ等、野草を楽しむことができる尾根道を整備した。</li> <li>・「新緑の長沼・平山城址公園を歩こう」は、管理所のない公園における、職員や丘陵地ボランティアによる保全活動の取組を発信する重要な機会であるため、参加者を更に増やしていけるように一層の発展に期待する。</li> <li>・熱心で専門性のあるボランティアを「里山学芸員」として認定し、活用することで企画プログラムの幅が広がることを期待する。</li> </ul>
39	平山城址公園	八王子市堀之内	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少種保全の取組について、植物調査を秋・春の2回実施した。植物多様性センターや丘陵地ボランティア等との協働による調査を行った結果、専門性が高いデータをローコストで取りまとめることができ、キクムグラ、ハンノキなど103科426種の植物を同定・記録した。専門性のあるボランティアを育てることで効果をあげている。今後、これら希少種等のデータをどのように管理に反映していくかについての方針が立てられることを期待する。</li> <li>・「新緑の長沼・平山城址公園を歩こう」は、管理所のない公園における、職員や丘陵地ボランティアによる保全活動の取組を発信する重要な機会であるため、参加者を更に増やしていけるように一層の発展に期待する。また、都民協働による事業については、本イベントの発展と同時に新たな取組を積極的に取り入れ、充実が図られていくことも望まれる。</li> <li>・利用者満足度の各項目が前年度から大きく向上しており、管理運営全般で利用者サービスの向上を図った結果と考えられ評価できる。</li> </ul>
40	小山田緑地	町田市下小山田町、上小山田町	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に実施したフロア調査の結果を活用し、ヒロハノカワラサイコの保全環境の確認及び維持管理計画を立案するなど、適正な植生管理を行っている。</li> <li>・かつて園内に生息していたオオムラサキの個体数回復に向けた幼虫保護に取り組んでおり、前年度に比べ個体数の大幅な増が確認できているなど、これまでの取組の成果が表れている。</li> <li>・都民協働の取組として、「田んぼ友の会」と協働で、里山景観のひとつである「田んぼ」を維持し、子供たちに里山保全活動の体験としての米作りを伝承する体験講座を実施した（28年度の開催17回に対し、29年度は23回実施し、参加者も延べ1,000人近くにまで拡大した。）。</li> <li>・来園者向けのハンズオン展示を充実させ、見学者が興味を持ち、内容に引き込まれるように工夫するなど、管理所を魅力的な情報発信の場とした。来園者と職員の接点となるハンズオン展示の継続を期待する。</li> <li>・都民協働による稲作活動と里山祭り（収穫祭）の実施は、里山の自然、文化の素晴らしさを伝承するとともに、多世代にわたる地域交流を促進している。地域のNPOや学校との協働により、里山体験の幅が広がっており評価できる。</li> <li>・田んぼの活動が始まっているが、雑木林管理活動などとともに、里山の景観づくりや環境保全に関する幅広い取組の中に位置付けながら展開されることを期待する。</li> </ul>



41	小山内裏公園	町田市小山ヶ丘二・四丁目、八王子市南大沢四・五丁目、鏈水二丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベニシユスランの5年ぶりの確認とともに、人工授粉や播種による増殖の取組を実施した。また、ゲンジボタルの生息環境保全のための維持管理作業を行い、生息数が大幅に増加するなど（前年度比で3倍）、生物多様性の向上に向けた取組を着実に実行している。</li> <li>・高齢者や障がい者を対象とした「水曜コンサート」のほか、「どんぐりコンサート」を毎月2回実施するなど、来園者との交流の場を提供し、地域のコミュニティを創出している。また、特別支援学校との協働事業や、関係団体（警察・消防・地元市・町会等）と連携したイベントの実施など、積極的な連携により、公園の利用を促進している。</li> <li>・「さくらまつり」や「チャレンジ防災」など、2市にまたがる公園の特性を活かし、地域の核となる公園としてのイベントを定着させている。特に、チャレンジ防災は前年度の1.5倍の5,200人を集客し、市民の参加が広がっている。</li> <li>・様々な「里山カレッジ講座」を開催し（観察と座学を組み合わせた秋の昆虫、キノコ、冬の野鳥、早春の植物等の専門講座の開催等）、子供から高齢者まで幅広い層が楽しめる企画を展開するとともに、里山保全活動を担う人材の育成（ガイドウォーク等イベントへの参加による里山保全に向けたスキル向上）に取り組んでいる。</li> <li>・特別公開イベントとして、サンクチュアリの一部エリアを開放し、野鳥観察会やガイドウォークを開催した。園内に残る手つかずの自然環境を活用して、貴重な体験を来園者に提供している。サンクチュアリの有効活用に踏み出したことは評価できる。</li> <li>・「水曜コンサート」の開催や特別支援学校との協働事業の実施、地元市・消防署と連携した地域防災に関するパネルディスカッションの開催など、イベントを定着させ、公園を核とする地域交流の推進、地域コミュニティの創出に寄与している点は高く評価できる。</li> </ul>
42	桜ヶ丘公園	多摩市連光寺三・五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護区域における選択的除草や保護用の柵の設置により、希少種の保護及び生育に努める植生管理を着実に実施し、キンランは毎年1.5倍の増加、ミズオオバコは前年から124株が増加し、553株の開花数を確認する等、保護活動の成果が出てきている。また、丘陵地レンジャーや丘陵地ボランティアとともにガイドウォークを実施し、生物多様性の保全の意義についての理解を深めている。</li> <li>・「多摩丘陵さくらまつり」では、同グループ内の小山内裏公園と連携したPR活動により、前年から1.2倍の集客数の増加につながっている。また、多摩市教育委員会と連携し開催した「旧聖蹟記念館」でのコンサートは、昨年度は春のみの開催であったが、新たに秋も開催するなど、充実・拡充に取り組んでおり、公園の利用を促進している。</li> <li>・「遊びの広場」を活用し、新たに実施した「里山移動図書館」では、動植物の絵本の提供だけでなく、職員の手作りによる紙芝居の実演など、集客や利用者が楽しめるための工夫を施した。</li> <li>・専門性のある丘陵地レンジャーが、充実したプログラムを提供しており、公園資源を活用した小学校の環境学習活動の取組は、現在及び将来の公園利用者とのつながりを深めるものであり、社会教育の観点からも高く評価できる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩丘陵の公園は、かつての多摩丘陵の開発から自然を残すために指定された意味合いを持つ都市公園ともいえる。このため、自然を残すことに比べ、利活用を重要視していない考え方もあったと思われる。当グループの事業計画においては、基本理念の「里山を元気に」の中に「活用」の要素が入り、保全エリアを紹介する取組が行われたことは極めて重要な判断であると評価したい。</li> <li>・生態系の保全にかかわる市民参加のプログラムにさまざまな工夫が見られ、専門性のあるボランティアが育成されている。</li> <li>・小山田緑地、小山内裏公園におけるベニシユスランやゲンジボタルなど希少生物・植物の保護、増殖の取組は成果を出しており、また、「チャレンジ防災」などの定着した取組においても、着実に参加者数を拡大しており評価できる。</li> <li>・日常の管理運営、地域連携やイベント企画など公園の魅力向上に尽力している姿が伺える。利用者満足度が高いことから、ロコミ等で利用者の増加につながることを期待する。</li> <li>・桜ヶ丘公園のような雑木林ボランティアの歴史が長い公園があるが、これまでの実績に安住せず、多摩エリアの緑地保全の先導的役割を發揮することを期待する。</li> <li>・事業計画の「里山を元気に、人を元気に、地域を元気に」の基本理念のもと、各公園の特性、資源を上手く活かし様々なプログラム、事業を実施しており、今後とも基本理念の具現化に向け更なる改善に期待する。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 大神山公園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
43	大神山公園	小笠原村父島	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて確認されたアカガシラカラスバトの営巣活動が無事に行われるよう、順応的植生管理や通行止め措置などの維持管理及び利用者への注意喚起などに取り組み、生物多様性保全に貢献している。</li> <li>・トイレ等の施設清掃をきめ細かく行っており、施設の清潔さが維持されている。</li> <li>・固有植物に配慮した維持管理や希少動物の生息環境保全への寄与により、世界遺産の玄関口でもある大神山公園の環境づくりに貢献している。</li> <li>・小笠原の固有植物を植栽した花壇を丁寧に管理しており、観光面でも高い効果が得られている。</li> <li>・8月から新たにツイッターを導入し、小笠原という島しょの特性や自然に関するツイートを平日に毎日投稿し、インプレッション数が26万件を超えるなど、従来より広範囲に公園の魅力を伝えている。また、ニュースレターを観光客や島民だけでなく、区部・多摩地域でも配布するなど、広報の向上に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・小笠原の自然を紹介するガイドウォークなど、地域性あふれるイベントを開催している。</li> <li>・都民協働の取組が、継続的に地元のニーズに応じている点は評価できる。外からの観光客をも積極的に取り込めるとさらに望ましい。</li> <li>・世界自然遺産に指定された離島ゆえの管理運営の困難さがある中、環境保全に対し厳しい目を持つ利用者を満足させるような良好な管理運営がなされている。特別な地域環境にある都立公園であるからこそ、世界の他の観光施設に比類するぐらいの意気込みを持って、引き続き良好な管理運営にあたっていかれることを期待する。</li> <li>・島民向けに対するものと来訪者に対するものの両面で公園の役割があると思うが、それぞれの管理活動が何を目的にして行っているのか、もっと明確にされることが望まれる。</li> </ul> <p>また、情報発信についても、利用促進、小笠原の環境資源の普及啓発、公園の役割とそのため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>にどんな管理に取り組んでいるかの理解促進など、多面的に、かつ、島内と都民全体の両方を対象に行っていくことが望まれる。</li> <li>・観光船内での広報活動は効果的である。また、二見湾を一望するライブカメラ映像はセンター内のモニターだけでなく、ウェブサイト上でも見られるような工夫にも期待する。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 青山葬儀所（指定管理者：日比谷花壇グループ 指定期間：平成28年4月～平成33年3月）

No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
44	青山葬儀所	港区南青山二丁目三十三番二十号	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の清潔な状態を定めて委託業者が点検・確認する「インスペクション」を試行的に2回実施し、自らの点検だけでは見落としがちな改善箇所もつぶさに拾い、きめ細やかな清掃による施設の清潔さが保たれた。</li> <li>・施設点検日の空き時間を活用した利用促進日を4回実施し、施設・設備・各部屋の活用事例を企業・団体へ紹介した。</li> <li>・公式サイトをリニューアルし、予約状況や新設された遺体安置室の利用なども含め、利用者が必要な情報にすぐにアクセスできるよう工夫を行っており、利便性が向上している。</li> <li>・葬儀を行うまで遺体を安置する遺体安置室を施設内に設け、遺体保冷庫の配備の他、遺族が面会できる環境を整備した。また、昨年度行った利用者アンケート調査を分析し、消臭除菌装置等備品の充実や音響業者が使用する楽屋にエアコンを設置するとともに、遺族室内に書籍コーナーを設置してご遺族の心に寄り添う「グリーンケア」の役割を果たすなど、利用者の要望にも応え、サービスの向上を図った。</li> <li>・老朽化や駐車台数の不足などの大きな問題のある中、利用者アンケートや要望等を分析し、利用者の立場に寄り添って、遺体安置室の設置、保冷庫の配備、消臭除菌装置等の充実などきめ細かな改善を行い、利便性、快適性を常に追求する姿勢は評価できる。引き続きの努力に期待する。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 防災公園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月） （※葛西臨海公園のみ平成28年4月～平成30年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
45	東白鬚公園	墨田区堤通二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園のシンボルの「まとい像」の研ぎ出しや込み合った枝を適度に透かす剪定を行うなど公園の景観を向上させる維持管理を行っている。</li> <li>墨田区の協力のもとパーク・スクールを初めて開催し、葉っぱを使ったアクセサリ作りなど公園や園内の樹木に興味を持ってもらうイベントを展開した。</li> <li>区や消防署と連携して防火防災フェアを実施した。1,500人の参加があるなど地域の防災意識の向上に貢献している。また、地域連携防災訓練を実施し、地域住民の防災意識向上と知識の醸成を図った。加えて、芝浦工大の学生プロジェクトと協働で防災遠足（防災施設見学ツアー）を実施し、地域との繋がりと連携体制の強化を図っている。</li> <li>汐入公園と連携した「みんなの防災まつり」では、参加型の多彩な防災体験プログラムを企画・実施し、地元町会とともに地域の防災力の向上を進める取組となっており、今後も継続して実施することが望まれる。</li> <li>団地に隣接した公園であり、利用主体は地域住民であることから、地域住民の年齢層や生活時間などを考慮した公園に対するニーズを整理し、社会的要請（高齢者の社会参加、子育て支援など）に公園がどう対応すべきか、また、新たな公園のあり方などの検討が望まれる。</li> </ul>
46	木場公園	江東区木場四・五丁目・平野四丁目・三好四丁目・東陽六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者団体の協力を得て園内施設点検を行い、車いす利用者に配慮したスロープ設置や園路の段差解消など、点検の際の意見を反映させユニバーサルデザインに配慮した施設補修を実施した。</li> <li>NP0法人や公園ボランティアと連携して、年間を通じて自然観察会やワークショップを実施しており、毎月異なるプログラムを年19回開催し、1,200人もの参加があるなど、プログラムを通じて多くの利用者に木場公園の魅力を伝えるイベントを展開している。</li> <li>都民協働の取組として、町会、各ボランティア等と公園連絡協議会を開催し、公園で予定している事業の情報提供や意見交換を行った。管理運営への理解を深めるとともに、防災訓練やイベント出展を促す機会としており、公園利用の発展に繋がる意見交換の場として活用している。これに基づく活動も活性化しており、今後の発展が期待できる。</li> <li>また、サツマイモ食育体験では、近隣の幼稚園等から多くの参加がある中、伝わりやすいよう説明に紙芝居を用いるなど工夫しており、食育の取組を通じて地域交流を行い、公園への愛着を醸成している。</li> <li>都市緑化植物園については、ボランティアの歴史が長く、以前から活動を行っているが、ボランティアに任せきりとせず、修景や見どころなど新しい魅力づくりや、江東エリアの緑化の課題に対応した各見本園の役割の強化など、意見交換しながら今後の展開を検討してほしい。</li> <li>「わんぱく防災フェスタ」を開催し、防災アニメーション上映会など6つの新規プログラムを導入して内容を充実させ、2,300名と多くの参加者に防災の普及啓発を図った。</li> </ul>
47	砧公園	世田谷区砧公園、大蔵一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリーパークへの犬の連れ込みや園路でのスケボー利用者などのルール違反者に対して、職員、警備員による巡回指導を粘り強く行い、公園の適正な管理に努めている。</li> <li>近隣高校の吹奏楽部と「青空コンサート」を開催。高齢者や体の不自由な方が来場することもあり、誰でも楽しめる空間を創出し、公園の魅力向上を図るイベントを行った。</li> <li>さらに、世田谷の文化性を生かし、大学と連携したコンサートのような地域連携の企画を広げていくことが望まれる。</li> <li>都民協働事業では、ボランティアと連携してユニバーサルデザインを取り入れた「バラを観る会」を開催。英語版の案内の配布や目の不自由な参加者向けの音声案内など、誰でも楽しめる空間の創出を行った。ユニバーサルデザインを意識した取組のさらなる展開と発展に期待する。</li> <li>防災普及イベントを、区、消防署、警察など関係機関と今年度初めて連携して開催。公園職員と消防署職員による「防災講話」など、実践的なコンテンツを用意するとともに、地域との連携強化が図られている。地域の防災意識、公園の防災対応力の向上に資するものであり、今後更なる連携強化を図られたい。</li> </ul>

48	駒沢オリンピック公園	世田谷区駒沢公園、目黒区東が丘二丁目、八雲五丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングコースを自転車で行く中の来園者に落ち枝があったり、転倒・負傷する事故が発生した。園路やサイクリングコース上の落枝については、特に注意が必要であり、再発防止の徹底が求められる（事故後、各公園で緊急枯枝点検を行い処理を行ったほか、新たに週一重点点検日を設けるなどの再発防止策を講じている。）。</li> <li>・大規模イベントやスポーツ施設など、多種多様な目的の利用者が集まる公園にあって、利用者間の調整や来園者、近隣住民の要望に対して丁寧に対応している。また、昨年度よりも大幅に利用者増があったことは評価できる。</li> <li>・開園記念日を地域とともに祝うイベント「駒沢アカリテラス」では、地域の団体と連携したコンテンツを用意し関係強化を図るとともに、キャンドルアートへ来園者が願いを書き込むコンテンツを追加するなどの創意工夫を行っており評価できる。今後も地元を巻き込んだイベントの開発と継続を期待する。</li> <li>・オリンピックの名称を生かした取組がみられない。単にスポーツの祭典ということばかりでなく、オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発、多文化世界の理解など、オリンピックをテーマとすることで、いろいろな切り口での取組が考えられるので検討されたい。</li> <li>・公園内の体育施設を管理する（公財）スポーツ文化事業団や関係機関と連携した「防災フェスタin駒沢2018」では体験型のプログラムを用意したほか、東日本大震災での流木から作られた楽器を用いた演奏会を実施し、災害への備えや意識付けをより強く啓発した。</li> <li>・地元町会やガールスカウトと連携した「防災デイキャンプ」では、新たに消火器ストラックアウトを取り入れるなど内容の拡充を図り、さらに積極的な広報により昨年度の2倍近い参加者を集め、防災公園の機能や役割を広くPRした。その他、園内の民間カフェと連携した避難訓練の実施は、公園の防災対応力向上に資するものであり、今後とも更なる拡充が図られることを期待する。</li> </ul>
49	代々木公園	渋谷区代々木神園町、神南二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模イベントや屋台出店者に対して現場での指導を徹底し、他の来園者の利便性、安全の確保に努めた。また、園内の一部を不当に占拠する不適正利用には毅然とした対応をし、園内の適正化に努めた。非常に多くの来園がある公園であるため、安全の確保等の取組は特に重要であり評価できる。</li> <li>・ユニバーサルスポーツイベントを実施し、パラリンピックの正式種目を気軽に体験できるコンテンツを用意し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催機運の醸成を図ったほか、東京学芸大学と共同研究している「バリアブレイクスポーツ」を取り入れ、発達障がいへの理解促進を図るとともに幅広い世代にスポーツを楽しむ機会を提供した。</li> <li>・自主事業の取組では、開園50周年を契機に公園の役割や資源を発信することを目的に、ボランティアや関係団体の協力を得てジャズフェスティバルなどの多彩なプログラムを展開した。合わせて公園の歴史をまとめた小冊子を作成し、新聞社等へ配布した。各種の取組により公園の使い方の工夫が広がった。今後も様々な主体の協力を得ながら、魅力的な企画が実施されることが期待できる。</li> <li>・公園の防災機能のPRと防災意識の普及啓発を目的とした「防災ライフフェスタ2018」を実施。外国人の参加者のために英語の堪能な職員を配置し、より幅広い層へ向けての発信を行った。</li> <li>・「渋谷駅周辺帰宅困難者対策協議会」が実施する訓練にて、公園へ一時避難後、受入施設へ移動する訓練を提案し、地域との連携強化を図るとともに、園内の防災施設について広く周知した。</li> </ul>
50	善福寺川緑地	杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都の河川事業にかかる工事に関して、施工者との管理調整や来園者への安全配慮に努めている。</li> <li>・都環境局からの要請に基づく、園内の野生生物の保護（オオタカの営巣）について、関係団体と綿密に連携し、公園利用者及び近隣住民への影響を最小限に留めるよう努めた。また、桜花期における違法屋台対策について、都及び警察と連携し公園周辺に対する適正化の促進に協力した。</li> <li>・杉並区の震災救援所の連絡会にて防災公園のアピール及び連携先の拡充を図った結果、公園連絡協議会に新たに1団体が参加した。また、近隣保育園や小学校との合同防災訓練を新たに実施した。更に、公園で防災訓練を実施してきたメンバーと「成田西防災を考える会」を発足し、地域防災力向上に寄与した。地域の将来を担う子供たちの防災意識を高めることにつながる取組であり評価に値する。</li> <li>・今後も、地元の協力元の底辺を広げる努力を続け、地域の様々な主体との協力で、防災だけでなく魅力的な公園での企画が広がることを期待する。</li> <li>・従来から行っている鯉のぼりや七夕の飾りだけではなく、公園の特性や時期を踏まえた魅力向上の新たな取組が実施されることを期待する。</li> </ul>

51	和田堀公園	杉並区大宮一・二丁目、成田東一・二丁目、成田西一丁目、堀ノ内一・二丁目、松ノ木一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間にバイクで参集する集団の喫煙やエンジン騒音等の問題行動に対し、職員による巡回や委託による警備強化を行い、事態の收拾に努めたことは高く評価できる。</li> <li>・杉並区が設置する認可保育所について、都の指示の元、区や保育事業者と連携、協力し、保育所工事期間の現地の適正な管理に努めた。</li> <li>・杉並区郷土博物館との「古墳体験イベント」では遺跡の見学や古代装飾体験のほか、新たに舞切り式の火起こし体験を追加。地域の歴史資源を活かし、学びや体験の場として公園の魅力を向上させた。今後も地域の歴史資源などに着目してイベント内容の充実が図られることを期待する。</li> <li>・防災フェスタではボランティア団体や地元警察、消防署と連携し、防犯対策の普及啓発や倒壊家屋救出救助訓練といった幅広く安全・安心に係るプログラムなども実施し、内容を充実している。</li> <li>・地元区だけでなく地元諸団体の代表者が集まる「震災救援所連絡会」や「母親クラブ連絡会」とも連携を強化し、「親子体験型デイキャンプ」と「防災フェスタ」を同時開催したことは、公園が核となり地域全体の防災意識を高めることにつながり評価できる。</li> </ul>
52	汐入公園	荒川区南千住八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隅田川花火大会における安全確保及び自主警備を行った。荒川区や警察署等と公園連絡協議会を開催し、昨年の課題（トイレの混雑や警備員の人数等）に対応し、利便性や安全性を向上させた。</li> <li>・公園内に開園した保育園の職員と連携し、子供の視点に立った園内施設の点検を行っている点は評価に値する。</li> <li>・ランニング教室をスポーツ関連メーカーと連携し、スポーツイベントを初開催した。親子で参加できるプログラムにより、ほぼ全員の参加者から「満足」との声があり、利用者の満足度の高いイベントを展開している。</li> <li>・都民協働事業においては、町会と連携して開催した「汐入まつり」では、盆踊りの実施時の安全確保や「はしご車体験」等親子で楽しめる体験プログラムなどを実施し、地域への協力、交流の活性化を図っており、地域との関係性強化に繋がっている。</li> <li>・「汐入水辺フェスタ」では、前年度のアンケート結果を踏まえ、より水辺を楽しめるイベントとなるよう荒川区等と開催場所の検討を行い、テラスへのケータリングカー出店により「水辺カフェ」を創出するなど、利用者満足度の高いイベントとして実施した点は評価できる。</li> <li>・ボランティアの育成を図り、ハーブ園づくりから、ハーブを使った体験プログラムに展開しており、公園の特色と魅力づくりに繋がっている。</li> <li>・地元町会や中学校に働きかけ、区及び消防署等と連携した地域連携防災訓練を実施したほか、昨年度に引き続き、東白鬚公園と「みんなの防災まつり」を実施した。幅広い年齢層が参加しやすい様々な防災体験プログラムを企画・展開して地域の防災力の向上を進めており、今後の継続実施が望まれる。</li> </ul>
53	城北中央公園	板橋区桜川一丁目、小茂根五丁目、練馬区氷川台一丁目、羽沢三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園施設の毀損行為に対し、都や警察と連携し、現場の適正な管理に努めている。また、都の河川事業に対して、都や工事施工者と連携し、事業の推進に協力している。</li> <li>・開園60周年をテーマとした「環境まつり」を実施した。近隣小学生が公園の将来図を描いた絵「公園の未来を描こう」の掲載やボランティアによる「草笛体験&amp;コンサート」など地域に密着したコンテンツを用意し、地域との連携強化、公園の魅力アピールを図った。</li> <li>・自主事業の取組として、園内の茂呂・栗原遺跡を活用した「古代文化フェスティバル」を開催した。火起こし体験やかまどづくり等、地元区の専門家と連携したコンテンツを提供するとともに、板橋区・練馬区と連携し広報誌等でPRを行った。地域の歴史資源を活用して学びや体験の場を提供するもので評価できる。</li> <li>・防災施設体験イベントの実施は、「東京防災」のプログラム体験や災害時に備える家族会議（防災ディスカッション）等内容を充実させ、地域住民との連携強化及び防災公園としての機能や役割を周知した。</li> </ul>

54	光が丘公園	練馬区光が丘二・四丁目、旭町二丁目、板橋区赤塚新町三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バードサンクチュアリ内の池で16年ぶりとなる市民参加型のかいぼり体験を実施した。外来種の捕獲や汚泥除去により、在来種の保護や水質の改善が図られた。また、TOKYO MXテレビからの取材を通して広くPRを行った。前回実施時から期間が空いているが、今後も継続して実施していくことが望まれる。</li> <li>・ペットのノーリード等のマナー違反に対して、巡回時の指導など粘り強く対応を行っている。利用者満足度がほとんどの項目で昨年度を上回っており、こうした取組を含み利用者サービスの向上に取り組んだ結果と言える。</li> <li>・園内でプレイパークを実施しているNPO法人と「プレイパークフェスティバル」を初開催し、ドングリプールやたき火でキャンドルづくりなどのプログラムを用意。また、自然観察会では夏の夜間生物観察会が人気を呼ぶなど、子供を対象に公園の自然を知り体験する機会を提供した。各種の広報媒体で紹介され、公園を宣伝する効果もあり、公園利用の裾野を広げることに繋がっている。</li> <li>・学生ボランティアや地元小学生団体の園内での野外活動のプログラムの中に防災訓練を組み込むよう提案し、地元区と連携して、子供への防災公園としての機能を知ってもらう場を提供した。</li> <li>また、地元の高等学校の防災教育への協力として、合同給水訓練を実施し地域の防災力の向上を図った。公園内の施設も紹介し、防災公園の機能や役割について普及を図った。</li> <li>地元の学校等と防災の取組を行っているが、特に地元若年層の参加を促す取組については、引き続き広く普及啓発がされることを期待する。</li> <li>・近隣企業との合同防災訓練を初開催し、企業社員の家族も参加することで地域防災力向上に努めたほか、近隣町会とも合同訓練を初めて行い、地域との繋がりを強化している。</li> </ul>
55	舎人公園	足立区舎人公園、西伊興町、舎人町、入谷町、古千谷一・二丁目、皿沼三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒木がフェンスを破損する事故が発生しており、再発防止が望まれる（事故後、樹木点検を強化し、再発防止に努めている。）。</li> <li>・新たに整備された非常用発電施設の維持管理を着実にやっている。発災想定を変えた訓練とともに送電先の事業者との連絡会で緊急体制の確認や情報交換を行い、発災時の運用体制の強化を図っている。</li> <li>・大池再生プロジェクトで、美しい景観と水質改善が図られたことは、公園の魅力アップとして効果が大きい。</li> <li>・「千本桜まつり」ではゴミの持ち帰りの呼びかけやゴミ袋の配布といったマナーアップ活動の結果、課題であったごみの園地への広がりを防止した。</li> <li>・恒例の「ふれあいフェスティバル」では、区伝統工芸振興会の協力を得て初の試みとして、東京打刃物と江戸象牙職人の実演を交えた紹介を行うなど、地域と連携してイベントの魅力向上を図った。</li> <li>・元プロ野球選手をコーチに迎えた野球教室では、参加する子供のレベルごとにクラス分けをするなど、楽しく参加できるようきめ細かく対応しており、利用者に満足度の高いイベントを提供している。</li> <li>・「防災フェスタ2018」を開催。災害時に要配慮者となる人への支援をテーマとし、地域の自助力、共助力の向上を図ったほか、広報活動に力を入れ、約30,000人の参加があり、多くの人に防災の取組を伝えている。</li> </ul>
56	水元公園	葛飾区水元公園・東金町五・八丁目、埼玉県三郷市	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の見どころともなっている江戸系の花菖蒲について、神代植物公園から余剰株を入手したほか、各地の品種保存会等と連携を図り、品種を充実させた。</li> <li>・トイレの目隠し壁の黒カビを除去し、イラストや盆栽で装飾するなど園内環境の改善を図っている。</li> <li>・「ふれあいフェスティバル」では、若い世代へのアピールに力を入れるためイベント内容を一新し、屋外での上映会、アクセサリづくりなど、多様なライフスタイルに向けたプログラムを展開した。若い世代へ公園利用を促すことは、多くの公園の課題でもあるので、じっくりと取り組み、良い成果を残すことを期待する。</li> <li>・都民協働の取組については、親子耕作体験等の従来からの取組にとどまらず、さらなる充実を期待する。</li> <li>・「メタセコイアの紅葉と防災祭り」では紅葉を楽しみながら防災プログラムを体験してもらうよう工夫しており、特に若い世代への普及啓発を意識し「フォトスポットコーナー」「ご当地戦隊による防災ショー」等を実施した。また、園内の防災ショールームを活用して毎月異なるプログラムを展開し、防災の普及啓発を継続している。</li> </ul>

57	篠崎公園	江戸川区上篠崎一・四丁目、篠崎町五・六・七・八丁目、西篠崎一・二丁目、谷河内二丁目、南篠崎町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・51ヵ所所在する園地の植栽管理について、苦情や要望につながりやすい箇所から優先的に行うなど、これまでの管理状況を基にして計画的に行うことで、不法投棄や苦情の発生の未然防止が図られている。</li> <li>・花火大会に向けた園内の適正利用と安全管理を実施。露店出店防止と場所取り禁止看板を掲示したほか、園内巡回を徹底しトラブルや事故を防止した。</li> <li>・アジサイを題材にしたイベント「アジサイ祭り」を実施。石畳を配備し趣のある空間を演出したり、職員オリジナルのアジサイ園マップを作成するなどの工夫により多数の来園者に好評を得ている。アジサイに力を入れ公園の特色づくりや魅力向上を図っている点は評価できる。</li> <li>・単発のイベントに終わらせず、例えば挿し木苗づくりと補植ボランティア、アジサイの手入れ講習、開花情報の発信など、公園のコンテンツを複合的に生かす工夫が望まれる。</li> <li>・自主事業の取組として、開園50周年記念イベントを実施。江戸川区と連携し、江戸川区民まつりと同時開催し、公園の歴史や魅力を伝えるとともに地域からの参加も促すことで地元との交流の場ともなり、公園への愛着を醸成した。</li> <li>・江戸川区と連携して、近隣5町会と地域連携防災避難訓練を実施し、防災船を活用した避難訓練を行うなど、防災意識の醸成を図った。</li> </ul>
58	葛西臨海公園	江戸川区臨海町六丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人との協働で鳥類園の維持管理に取り組み、現状の課題の洗い出しの上、作業方針や実施時期を定めて効率的に行うことで、鳥類園の環境を向上させた。</li> <li>・きめ細やかな清掃により、施設の清潔さが維持され、施設の清潔さに対する利用者満足度も高い。</li> <li>・第二駐車場が閉鎖され、また中央園路工事で大きな影響がある中、警察など関係機関と連携し、来園者の利便性を落とすことのない管理運営がされている。</li> <li>・サマーフェスティバルの内容の拡充（民間企業の特別協賛により「TOKYO Aloha Project」の初開催）、秋のコスモスの開花に合わせたコンサートや花摘みイベントの開催、冬の水仙まつりなど、季節ごとに話題性のあるイベントを開催している。</li> <li>特に、水仙まつりでは、昨年度からの水仙畑ライトアップの効果により、多くの媒体で取り上げられ、積極的な広報とともに、公園の魅力発信に力を入れている。</li> <li>また、民間企業の協賛により各種イベントの魅力アップが図られ、多くの都民が公園に足を向ける機会につながっており評価できる。</li> <li>・震度6強を想定した地域連携防災訓練を行い、応急手当や初期消火訓練のほか、東京水辺ラインと連携した緊急物資の積み込み、怪我人の搬送訓練を実施した。</li> <li>・防災体験会を行い、テント泊、かまどベンチを使用した非常食作りなど、避難先で自身で対応できる技術を学ぶことを通して、防災に関する興味や意識の向上を図る機会を提供している。</li> </ul>
59	武蔵野中央公園	武蔵野市八幡町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃活動や花壇づくり等のボランティア活動に各種団体や施設利用団体を受け入れた。延べ1,500人も参加があり、公園の美化・魅力アップを図るとともに管理作業を通じて公園への理解を深めてもらえる取組であり、また、多くの人に社会貢献の場を提供している。</li> <li>・（公財）東京都障害者スポーツ協会の協力を得て障がい者スポーツイベントを実施した。車いすバスケのブース運営や展示パネルの借用などの協力のもと、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成も図った。</li> <li>・武蔵野ふるさと歴史館と協力しガイドツアーを実施。防災公園としての役割と使命を参加者に理解・認識してもらい、両施設の新たな魅力をアピールできた。</li> <li>・子供向け防災ワークショップ、消火訓練やスタンプラリー等の「防災フェスタ2017秋」を実施。デモンストレーションとして、原っぱ広場に警視庁航空隊のヘリコプターが着陸し、緊急物資搬送訓練の実演を行った。</li> <li>・公園主導で初めての地域連携防災訓練を実施。武蔵野市と綿密に調整した結果、各官公署との連携強化が図られ、発災時の協力体制構築の契機となった。今後も関連する各機関と調整の新たな協力体制の構築が望まれる。</li> </ul>



60	府中の森公園	府中市浅間町一丁目、緑町二丁目、天神町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年汚泥が蓄積した池は、生き物を保護した上で全ての汚泥と水を抜いたことで、池底が見える美しい池へと生まれ変わり、良好な景観づくりが進められた。この景観を持続するように管理を継続することが望まれる。</li> <li>・保護エリアの拡大や、除草や落ち葉掻きといったきめ細かな維持管理により貴重種であるクゲスマランが昨年の約7倍の433株まで増加させるなど、継続した取組で成果を出している。</li> <li>・園内の自然資源を活用した昆虫観察会等を開催し、イベントを通じて自然との触れあいの機会を提供している。</li> <li>・噴水照明の補修・LED化等により、初の夜間イベント「灯りでつなぐ府中の森の冬物語」を隣接の府中市美術館との共催で開催。ライトアップ、天体観測など多彩なプログラムを展開し、近隣の施設からも協力があるなど地域を盛り上げるイベントとして実施している。芸術性の高いイベントであり地域の文化拠点である本公園のPRに繋げることができた。</li> <li>・「キッズ防災チャレンジ」を府中市のボーイスカウトと連携して実施。地域と一緒に作り上げる防災イベントとして、防災力向上や防災意識の醸成を図っている。</li> <li>・府中市、警察・消防、自衛隊、市美術館、NPO等と連携を図り、「防災フェスタ」を開催。「非常食展示」、「防災スタンプラリー」、犬連れを対象とした「防災しつけ教室」など、新プログラムを導入し規模を拡大。特に犬連れの利用が多い公園の状況に見合ったプログラムを提供した。</li> </ul>
61	武蔵野の森公園	府中市朝日町三丁目、調布市西町、三鷹市大沢五・六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の「ふるさとの丘」及び法面では、芝張りを行い緑の景観回復と園路との段差解消により、安全性を向上している。使用した「芝」「客土」は、公園内の三鷹市野球場のメンテナンス発生材を使用し、効率的に維持管理を行った。</li> <li>・サービスセンターでは、のびのび親子館の清潔な環境を維持し、子供の描いた絵を飾るなど親しみやすく明るい演出を心がけている。また、掩体壕（えんたいごう）など周辺の歴史を伝える掲示物が充実している。</li> <li>・のびのび親子館では、子育て世代を対象にして各種プログラムを展開しており、「ファミリーヨガレッチ」では、開催日の工夫により父親の参加率が大幅に向上するなど利用促進が図られている。</li> <li>・地域に働きかけ「公園フェスタ」を開催し、新たに近隣の学校やサークル6団体がステージでの発表に参加、地域ボランティア7団体の協力など様々な主体が集い、地域コミュニティの公園利用の幅が広がった。</li> <li>・地元自治会や警察、消防、自衛隊等と防災フェスタを実施した。幅広いプログラム（防災クラブ体験、ロープ渡り体験等）を用意。多磨駅前を含め全6か所の掲示板にチラシを貼り出し広報を強化。結果として前年度比2割増となる延べ1,600人の参加があった。</li> </ul>
62	小金井公園	小金井市桜町三丁目、関野町一・二丁目、小平市花小金井南町三丁目、西東京市向台六丁目、武蔵野市桜堤三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの名所として、サクラ景観の更なる魅力向上を進めるプロジェクトを始動させ、江戸・東京ゆかりの品種の苗木の補植や、サクラの被圧の原因となっていたケヤキを撤去するなど植栽環境を整えた。平成29年度からの取組であるが、プロジェクトの着実な実施を期待する。</li> <li>・野球の基本技術の向上を図るプログラム内容の「少年少女野球教室」や、スポーツ関連メーカーや学芸大学と連携した「スポーツチャレンジ」の実施により、野球場の知名度向上と施設の利活用に繋げることができた。</li> <li>・近隣の学芸大学の協力を得て、カロリー消費型コースを活用した「ウォーキング教室」を開催。公園を舞台に地域住民の健康づくりや地域交流の促進に寄与している点は評価に値する。</li> <li>・小学校と連携し、公園の魅力を子供たちならではの表現でまとめたガイドブックを作成し、近隣施設・学校に配布するなど公園の魅力伝える取組を行っている。</li> <li>・武蔵野の雑木林の保全プロジェクト、樹林を生かした四季のイベントにより、地域に愛される公園となっている。</li> <li>・「防災フェスタ2017」を近隣自治体等と協力して開催。新たに消防署によるはしご車試乗、自衛隊の大型炊事車展示等を追加し、防災公園の役割等について効果的な啓発ができた。</li> <li>・4市自治体や消防署、市民団体等と連携し、16の自治会に対して訓練を実施。防災に関する指導者の拡大、市民の手で市民に防災の知識を広めるモデルケースを構築できた。</li> </ul>

63	東村山中央公園	東村山市富士見町五丁目、美住町一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンチは補修計画を前倒しし、園内の全ベンチ80基・野外卓7基の研磨・再塗装作業を実施。また、マイマイ池では赤外線内部探査と止水剤の加圧注入広報を用いた補修工事により漏水対策を行った。</li> <li>・地元NPO等と連携して「わんぱくあそび大集合！」を開催し、ロープを使った「ターザンロープ」「ブランコ」など広い場所で子供が思い切り遊べる場を提供した。また、スポーツ関連メーカーと連携して実施した走り方教室では、元オリンピック選手を講師に迎え、多くの参加者にスポーツに触れ合う機会を提供した。走り方教室における質の高いコーチングの提供など、今後も子供たちのスポーツへのふれあいの場の提供を積極的に進めることが望まれる。</li> <li>・生き物の痕跡を探す自然観察会、教員を対象とした自然解説のレクチャー、発生材による工作教室、セルフガイドシートの活用など、多様なプログラムを実施し、公園の自然資源への関心を高めた。</li> <li>・子供が喜ぶ遊びイベントや生物多様性の啓発プログラムなど、次世代を育てる様々な企画の工夫が評価できる。</li> <li>・「防災フェスタ」では、防災トイレ紹介やワークショップによる普及啓発を始め、東村山市、警察、消防、自衛隊の支援による応急救護、消火体験や炊き出し等の様々なプログラムを実施し、延べ3,000人の参加があった。警視庁航空隊と連携したヘリコプター実演を通して発災時における大規模救出救助活動拠点としての公園の役割を周知した。</li> </ul>
64	東大和南公園	東大和市桜が丘二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内版に接触した場合の怪我を防止するため、園内27カ所の案内版に保護材を取り付ける、隣接する施設管理者と管理境付近の情報共有を行い、それぞれが段差解消や支障樹木の処理を行うことで支障箇所をなくすといった取組により公園の安全性を向上させている。</li> <li>・トイレ特別清掃や排水設備特別清掃・補修などにより衛生的で快適な空間づくりを進めた。</li> <li>・ボーイスカウトと連携して、綱渡り・ブランコなどの遊び体験や自然素材でのクラフトづくりを通年実施しており、公園を通じて、子供が楽しみながら様々なことを学べるプログラムを提供している。</li> <li>・スポーツ関連メーカー等との連携によるスポーツイベントを開催し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての地域スポーツ振興醸成につなげたほか、公園の歴史をたどるガイドツアーでは、東大和市や市郷土博物館と連携し、日立航空機株式会社立川工場変電所の歴史も参加者に伝え、公園の歴史資源と新たな魅力をアピールした。</li> <li>・地元市や警察・消防、地域の防災協議会と連携した「秋の防災フェスタ」では、子供向けの防災ワークショップを実施。実践的な体験により子供たちが楽しみながら学習でき、防災対応力向上に寄与した。実施に当たっては、防災をテーマにした防災連絡協議会を開催し、地域住民の提案を受け防災訓練に反映させるなど、地域と一体となって防災の醸成を図っており、今後の展開に注目したい。</li> </ul>
65	秋留台公園	あきる野市二宮、平沢	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技場フィールドのエアレーション・芝刈・施肥などの管理作業を計画的に強化してきたことにより芝のクオリティと吸水性が向上、緑の芝生の安定維持を実現した。雨天時においても利用しやすくなり、利用件数も昨年度比で2割増加した。今後も継続して良好な状態を維持していくことが望まれる。</li> <li>・土砂水が流入する対策としてウォーターゲートを試験導入しているが、豪雨時対策を確立し、他の公園等への応用を期待する。</li> <li>・きめ細やかな清掃により、施設の清潔さが維持され、施設の清潔さに対する利用者満足度も高い。</li> <li>・地元NPO法人等と連携し、地域の家族世代を対象に、軽スポーツと様々な「遊び」を通して仲間との交流や遊びの楽しさを体験する場を提供する「遊び屋台」を開催した。遊びの場としての公園の魅力を伝える取組を展開している。</li> <li>・あきる野市や障がい者福祉団体等と連携したユニバーサルスポーツ祭を開催。（公財）東京都障害者スポーツ協会等との実行委員会で準備・運営に当たり、ユニバーサルマラソンのほか新規の競技も加えプログラムを充実して実施した。市外からの参加やボランティアの参加も多数あり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成が図られ、西多摩地域におけるユニバーサルスポーツの拠点となるよう取り組んでいる。</li> <li>・自主事業では、バラ園で「ローズフェスタ」を開催しており、職員によるバラ園ガイドツアーの回数増、新規を含む多くのプログラムを展開するなど充実して実施している。ジャズライブや地元商店と連携した販売ブース等賑わい創出にも取り組み、多くの来園者に公園の魅力を伝えている。</li> <li>・市、町内会、自治会等と連絡協議会を開催し、各団体への地域連携防災訓練参加の働きかけ、議論した管理方針、イベント・防災の計画等を公園の運営や訓練内容に反映させるなど、地域と着実に連携体制を構築して防災の取組を進めている。</li> </ul>

グループ全般

- ・防災士の資格取得者が100名近くに達するなど、職員の技術、技量共に向上していると言える。新たな訓練や内容の充実、手法の工夫等も見られ、グループとして防災対応力は確実に強化されている。
- 一方、これ以外の取組については、樹木管理の共同作業を除き、公園ごとの対応に任せている傾向が強い。各公園の個性を引き出すことは重要だが、利用者を含め社会の動向を踏まえ、統一的に取り組む事項の検討が望まれる。
- ・各公園において、公園及び地域の特性を踏まえて、地元市、地域団体等との連携強化を図りながら、新たな防災訓練やプログラムを展開し、公園自体の防災対応力向上のほか地域防災の向上にも寄与している。
- ・防災公園として位置づけられているが、利用者目線で見れば一般の公園と変わることはなく、発災時に備えるとともに、平時、利用者が楽しめるような運営が必要である。利用者満足度は高く役割を果たしていると言えるが、他の公園と比較して相対的に魅力的な取組が少なくなっているように思うので、積極的なチャレンジを期待する。
- ・防災公園グループの公園は、広い公園であり、リニューアルは都の事業となるが、エリアを決めて順次新たな見どころづくりや景観演出などを行うことで、今ある施設、資源などに安住せず、常に話題性のある公園を目指すことが望まれる。
- ・管理所が有料施設の受付機能中心に考えられている公園も多く、情報発信や利用者交流の場が不十分の公園もあると思われるが、公園入口での案内機能、休憩施設での情報発信機能の付設など、方法を工夫して取り組むことが望まれる。
- ・防災だけでなく、公園の魅力を生かした地域文化の育成の取組の検討が望まれる。特に都心の公園では、企業参加、アーティスト参加などで、東京都の新しい公園文化企画が生み出されることが期待される。郊外の公園では、地域のいろいろな主体と連携して、遊びや自然体験のおもしろい企画が効果を上げている。
- ・水害等のハザードマップ等を参考にして、地震だけでなく幅広い視点で公園での対応の必要性など検討をしてもらいたい。

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 文化財庭園グループ（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
66	浜離宮恩賜庭園	中央区浜離宮庭園	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の梅林について、樹勢や成長具合を確認しつつ花芽を残す手入れにより樹形を整えたり、すべてのウメの成長具合が分かるよう管理資料を作成したりするなど、梅林の景観向上を図っており、文化財庭園としての景観が維持されている。</li> <li>・きめ細やかな清掃により、施設の清潔さが維持され、施設の清潔さに対する利用者満足度も高い。</li> <li>・正月開園時の「浜離宮で華やかなお正月」では、放鷹術の実演や押絵羽子板の展示等、多くの関係者と連携して日本の伝統文化を発信した。</li> <li>・旧芝離宮恩賜庭園との「園結びチケット」を新たに発売し、回遊性を高め双方の利用促進を図る取組を始めており、今後の展開を期待する。</li> <li>・前年度のアンケート結果を踏まえ対象を拡大した「江戸からかみワークショップ」、能楽ステージを新規に実施した「東京大茶会」、菓草に焦点をあてた講義やワークショップ等、日本の伝統文化を体験できるプログラムやイベントを充実して実施しており、さまざまなイベントや体験プログラムの工夫により、庭園の魅力向上が図られている。</li> <li>・歴史資源を効果的に活用し庭園の新たな魅力を発信するとともに、地元区観光案内所や旅行会社、近隣ホテルとも連携し積極的に観光促進策に取り組み、過去最高の入園者数に結びつけた点は高く評価できる。</li> <li>・スウェーデン皇太子を始め諸外国の要人等の視察を受け入れ、また、引き続きヴェルサイユ高等造園学校の学生を受け入れ技術相互交流を実施し、日本文化や庭園の魅力を海外の方に伝える役割を積極的に担っている。東京を代表する庭園として多くの外国人に日本の歴史や江戸文化を発信したことは評価できる。</li> </ul>
67	旧芝離宮恩賜庭園	港区海岸一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木の特性に配慮した計画的な手入れを施すことで、文化財庭園としての景観を維持し、来園者に対するサービスの向上を図った。</li> <li>・「石柱」周辺の園路や「小山」の石段園路において劣化が顕著になってきたことから二和土舗装等の工法による補修を実施し、利用者の足元の安全確保に努めつつ景観を向上させた。</li> <li>・地元竹芝地区のまちづくり協議会への参加等、継続的に地域連携を推進している。児童公園内を一時避難場所と想定した防災訓練を近隣企業と合同で実施した。近隣企業と積極的に連携して、文化的観光拠点としての魅力向上を図るとともに地域の防災力の向上にも寄与している点は評価できる。</li> <li>・浜離宮恩賜庭園との「園結びチケット」を新たに発売し、回遊性を高め双方の利用促進を図る取組を始めており、着実に利用者が増えていくことを期待する。</li> </ul>
68	小石川後楽園	文京区後楽一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小廬山の景観を阻害していた樹木の間引き、排水機能を向上させつつの園路補修、神田上水跡の水景や周辺景観との調和を図る水門の改修など、作庭意図を尊重した着実な維持管理・補修を行っている。</li> <li>・東京国立博物館と連携した「春の野点」では外国人に人気の茶道体験の場を新たに提供したり、「花菖蒲を楽しむ」では、史実に基づいて舞楽を再演する「雅楽の演奏会」を初めて実施した所、チラシ配布後直ぐに定員に達するなど、ニーズの高い効果的なイベントを行って成果を上げた事は評価に値する。</li> <li>・桜花期の情報発信において、こまめなホームページとツイッターの更新、20の駅にポスターを掲載したりメディアとの良好な関係構築によってテレビ取材や雑誌で「全国お花見スポット第二位」に取り上げられるなどで期間中過去最高の来園者数(7万人超)に繋がった。</li> <li>・桜花期、紅葉期における広報活動と利用者サービスを積極的かつ工夫を凝らして展開し、来園者増に繋がった点は評価できる。</li> </ul>

69	六義園	文京区本駒込六丁目	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、貴重木であるしだれ桜の花付きが例年に比べ良くなかったことを踏まえ、樹木診断や調査、年間を通じた保全管理に努め、今年度は例年通りの見事な満開となった。</li> <li>・7月に発生した降雹では園内全域で落葉や枝折れの被害が出たが、東京都関係部署と協議の上、迅速な復旧に向け対応した。</li> <li>・しだれ桜や紅葉のライトアップでは質の高い園内空間を提供した。国際的な文化的観光地としての認知度も向上。増大する外国人来園者向けに、外国語対応のプログラムや掲示物等の英語表記を充実させた。</li> <li>・「秋の六義園」として、日本文化に親しむイベントを開催、作庭のモデルとなった和歌の浦を有する和歌山市と連携して庭園への理解を深める機会を創出した。日本茶文化講座では、外国人対応として英語や中国語への対応が可能な職員を配置、多くの外国人が参加するイベントとなった。</li> <li>・「飴細工体験教室」（新規）や「津軽三味線演奏会」、「日本文化体験講座」等来園者の多様なニーズに対応したイベントを実施して魅力向上に貢献した。</li> <li>・マスコミを活用した広報活動により来園者増に繋がった（桜のライトアップは開催期間中の来園者数が歴代第2位の25万人。「大名庭園でつつじを楽しむ」は、対前年110%、外国人客は120%）。また、都営交通×トリップアドバイザー「TOKYO100」にて都立公園内で最高位にランクした。</li> <li>・入園者数は目標の79.6万人に対し、98.1万人と上回っており、庭園本来の美しさを取り戻す努力をおしまず、またその魅力を伝えるような効果的な演出や宣伝の工夫を積み重ね、来園者を増やしている点は評価できる。</li> <li>・有料庭園としては決して広くない園内なので、利用者増に伴い事故等が起きないように、今後も安全管理に取り組むことが望まれる。</li> </ul>
70	旧岩崎邸庭園	台東区池之端一丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬車道の景観向上と安全確保を目的とし、法面に多く植栽されている岩崎家ゆかりのモッコクの枝透かしなどの伝統技法による樹形の維持・保全、危険木の伐採、高木の切戻し剪定、緑化しながらみ柵の設置や石積み天端の犬走り土留玉石の据え直しによる法面保護、和館壁紙の伝統工法による補修等、地道に重要な文化財の保全に取り組んでいる点は評価できる。</li> <li>・きめ細やかな清掃により、施設の清潔さが維持され、施設の清潔さに対する利用者満足度も高水準を推移している。</li> <li>・岩崎家ゆかりの都立庭園歴史紹介展を実施、岩崎家とのつながりや今に残る庭園の歴史について紹介するパネル展を巡回形式で行った。関係者から資料提供を受けるなど充実した内容となった。</li> <li>・毎年行っている午後のミニコンサートに加え、東京文化会館と共催した「まちなかコンサート」により東京文化会館の広報媒体や他の文化施設での宣伝など新しい利用者層の拡大を図った。</li> <li>・三菱一号美術館の協力を得て「東京建築探訪」と題した見学会を新規に実施した。建物自体の魅力を楽しむとともに、文化財建造物の保存・修復・復元・活用の取組についての普及啓発にも取り組む内容とするなど特徴あるイベントを企画した。東京の歴史的建築との連携事業による魅力再発見を目指した新たな試みとして評価できる。</li> <li>・ガイドツアーや生花展示など、ボランティアによる魅力づくりが広がり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたおもてなしの体制として期待できる。</li> </ul>
71	向島百花園	墨田区東向島三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・池の護岸杭と滝口の藤棚において、記録写真の活用や有識者の指導を仰ぎながら、護岸形状の復旧等の補修工事を行い、往時の景観に近づけることができた。</li> <li>・開放区域の点検を徹底、遊具破壊の再発防止のため警察へ協力依頼、防犯カメラの継続設置など、安全安心を利用者に提供した。</li> <li>・「月見の会」「大輪朝顔展」は、商店街や駅など地元と連携した広報を展開しTV番組や新聞に掲載され、来園者数も大幅に向上したことは高く評価できる。</li> <li>・ハギのトンネルを、古写真を根拠としながら仕様変更を伴う更新作業を行い、技能の伝承を図った。</li> <li>・引き続き新宿御苑と連携し、キク管理技術に関する知識と技術を深め、園内で保有していた古典菊の栽培数を増やし園内に展示するなど、園内景観の魅力向上を図っている。</li> <li>・商店街と駅などと連携してポスター掲示や園内で育てたアサガオを展示してもらうなど、広報・PRの取組が来園者増に繋がっているが、本園が地域の資産としての役割を果たし、地域に貢献できるよう、更なる連携をすすめてほしい。</li> </ul>
72	清澄庭園	江東区清澄二・三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・踏圧により不陸の生じた園路、石段や不安定な沢飛び石の据直しなど、園路の補修を景観に配慮しつつ着実にを行い、利用者の安全性を維持している。</li> <li>・近隣教育機関との「日本文化体験事業」や「庭園アカデミー」を実施し、来園者に庭園文化や日本文化に触れる機会を提供した。茶道、書道等の日本文化体験イベントを開催し、国内外の来園者に日本の伝統文化や庭園文化の普及・啓発を効果的に図った点は評価に値する。</li> <li>・深川消防署等地域と連携し災害対応訓練を実施した。小さな子供を持つ保護者や高齢者の介護をする人の関心度を高めた。</li> <li>・「枯滝」のグリ返しを実施。昭和10年撮影の保存写真を根拠に丁寧な作業を行い「富士山」の魅力向上に寄与した。</li> <li>・外国人入園者数は前年度から増加したものの、総入園者数は減少しており、来園者の傾向、イベント・広報等の効果の分析等に基づいた効果的な利用促進の取組が望まれる。</li> </ul>

73	旧古河庭園	北区西ヶ原一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激に葉が萎凋（いちよう）し枯死したスダジイについて、樹木診断により原因がキクイムシの食害であることを早期に発見し、適切な処理を行ったことで周辺樹木への被害の蔓延を防ぎ、庭園及び地域の緑化環境の維持に努めた。</li> <li>・メインイベントである「春のバラフェスティバル」において、ライトアップ特別撮影会の申込者が定員の5倍となる等イベント告知に注力した成果が出ている。また、期間中に行われた「春バラの音楽会」では1日2回の公演で1,500名を超える参加がある等早めのプレス発表、旅行会社への早期の情報提供で団体客(前年比131%)を獲得し来園者増につなげた。</li> <li>・六義園のライトアップと連携した「錦染まる旧古河庭園」では、期間中の入場者数は対前比112%、団体利用客178%となるなど、イベントの早めの告知と積極的な集客活動によって大幅な利用客増に繋がった。</li> <li>・ライトアップ、人力車の導入など、観光的な魅力づくりの努力がされているとともに、春と秋のバラフェスティバルや紅葉期イベントの際には、地元区との連携を強化するとともに、旅行会社、近隣駅等に積極的・効果的な広報活動を行い、庭園の魅力発信と利用促進を図った点は評価できる。</li> </ul>
74	殿ヶ谷戸庭園	国分寺市南町二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝石組や景石を際立たせる笹や株物の肥大成長を抑制する手入れ、湧水附近のやぶ化を防ぐ透かし剪定や流れの堆積土除去、ゴロタ石の清掃により美しいせせらぎを保全した。</li> <li>・萩のトンネル付近のシラカシ、サルスベリ、サザンカなどの常緑高木の整理、成長し視線を遮っていたヒサカキやアセビなどの撤去により、見晴らしが広がり、国分寺崖線の風景を堪能できる場の創出や、武蔵野ならではの別荘庭園としての風景を修復した。</li> <li>・閑散期にJR駅からハイキングを誘致する等の取組の結果、入園者数は目標10.8万人に対し、過去最高の11.4万人（前年度比107%増）を記録した点は評価できる。</li> <li>・子供向けガイドやクイズの実施時期を参加しやすいよう工夫するなど、若年層への普及啓発活動の充実と拡大により入園者数が増加したことは評価できる。</li> <li>・サービスセンター周辺で案内や来園者を迎える雰囲気づくりが不足しており、文化財庭園として工夫をすることが望まれる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・“文化財庭園熟”とも言えるような各園各担当者の熱意によって、本グループの各庭園はメンテナンス及びマネジメントにおいて飛躍的に高い水準に達している、若しくは達する過程にあると言える。これほど相乗効果を発揮した事例は稀で、賞賛すべきことと考えられるが、現状に甘んじることなく“文化財庭園熟”を保持していくことを期待する。</li> <li>・日本庭園は、インバウンド観光にとって大きなポテンシャルが期待できる。各園とも、本来の美しさを蘇らせる修景の努力、魅力を生かしたイベントや体験プログラムがよく工夫されており、情報発信のノウハウも積み上がっている。</li> <li>・六義園のシダレザクラなど主景観木の管理のほか、旧芝離宮恩賜庭園、六義園、向島百花園など維持管理による景観修復の取組は庭園の魅力向上に繋がっており評価できる。また、維持管理に習熟した人材育成に積極的に取り組んでいる。これらの取組により年間利用者336万人という来園者の成果を出し、急増する外国人来園者にも適切に対応している。</li> <li>・各庭園において高度な庭園技術・技能の伝承に地道に取り組むとともに、それぞれの庭園の歴史的・文化的特性を踏まえた多様なイベントを企画し、あわせて積極的かつ効果的な広報活動を展開して、国内外からの来園者増に着実に繋がっている。</li> <li>・お客様から入園料をいただく庭園であることを常に意識して、技能継承や文化伝承はもちろん、トイレや管理所、園路や植え込み、バックヤードも含めて、視界に入るすべてに上質さを感じられるような、レベルの高い維持管理を続けてほしい。すべての来園者が、支払った入園料以上の価値を見いだせる満足度の高い庭園であることを期待する。</li> <li>・庭園によっては、開放公園区域が含まれており、地域との関係性、安全性確保、どのように有効に使われているのかなど、開放公園区域に関する管理の課題や管理運営実績など事業効果としてとりまとめ・報告が必要である。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 神代植物公園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
75	神代植物公園	調布市深大寺元町二・五丁目、深大寺北町一・二丁目、深大寺南町四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工培養による繁殖事例のないユウシュンラン（絶滅危惧種）を筑波実験植物園と連携して世界で初めて無菌培養による出芽に成功した。</li> <li>また、道路工事等に伴う希少種の一時的預かりや埋土種子からの発芽実験、保育所建設予定地におけるタチクラマゴケの同定や保全について助言する等、植物多様性センターとしての役割を果たしている。</li> <li>・来園者が園内にいるにもかかわらず閉園し、外に出られなくなった事件があった（閉園前の警備員による誘導を強化し、再発防止に努めている。）。</li> <li>・小型建設機械を使用する作業において、機材の不適切な使用により職員2名が受傷する事故が発生した（事故を受け、作業において必要な計画書を作成し、作業にあたり確認の上で行っている。）。</li> <li>不注意による事故等の発生が、良好な管理を否定されることにつながることを全職員が認識し、徹底した再発防止に努められたい。</li> <li>・植物多様性センター職員や専門家による植物多様性に関する講座を10回開催し、植物の楽しみ方や絶滅危惧植物、植物多様性保全の普及啓発を図っている。</li> <li>・センターの活動内容は、幅広く初心者から研究者までを対象とし、他公園や、他事業とも調整を果たすなど素晴らしい実績を上げている。こうした取組について、様々な機会を捉え、広報、PRすることが望まれる。</li> <li>・また、センターの機能について、植物多様性保全の問題に直面している地域など必要としているところに知られていない可能性もあるので、社会的な役割を果たすうえでも積極的にアプローチしていくことが期待される。</li> <li>・「サクラソウ」専門家によるシンポジウム、花蓮と菊をテーマに専門家や古文書研究の第一人者を講師に招いて講習会を開催する等、江戸園芸植物の保存、継承に寄与する取組を継続開催しているが、神代植物公園を特徴づける魅力のあるコンテンツとなる水準まで生かすよう、多様な切り口での事業展開を期待する。</li> <li>・「夜」をキーワードに大温室ナイトツアーを実施し、夜に開花したり香りが強くなる花を中心に解説ガイドを行い、夜の開花状況を動画でも紹介することで「夜」の特別感を演出して幅広い年代の参加者の満足度を高めた。</li> <li>・季節の花をテーマに年間を通してフローラルコンサートを開催した。新たに地元調布市や音楽大学と企画連携して植物への関心と満足度を高め利用促進を図った。また、地元図書館と連携し温室や雑木林において「こもれびの森保育」を2回実施し、専門の司書が幼児を対象に緑に関する絵本の読み聞かせなどを行い、幅広い世代に自然を体感できる機会を提供した。</li> <li>・植物多様性に関する講座、大温室ナイトツアー、フローラルコンサートなど多彩なイベントで来園者に対応していることは評価できる。一方で来園者の拡大に結び付いていないので一層の取組が望まれる。</li> <li>・園芸種の保全、育成については大きな努力が払われ、重要な役割を担っている。園芸に専門的な興味のない来園者にも、その資源を生かして魅力的な植栽デザインや体験を提供し、それを上手に情報発信することで、さらに親しまれる植物園として来場者の増加が見込めるのではないかと考えられる。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 夢の島公園・夢の島熱帯植物館（指定管理者：アメニス夢の島グループ 指定期間：平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
76	夢の島公園	江東区夢の島一・二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会工事に伴う園内状況の変化に対して東京都と連携をとりながら柔軟に対応し、イベント調整や適切な公園管理を行っている。</li> <li>・園内状況把握・点検を強化し、不具合箇所の適切な調査、対応により来園者の安全を確保している。</li> <li>・東京2020大会会場公園の特性を生かし、新たな取組として、オータムフェスタ2017の中でアーチェリー予選会場予定地の仮囲い鋼板に東京2020大会をテーマとした絵を描く企画を行った。</li> <li>・SNSでイベントの内容を発信し、参加者のみならず多くの方へ東京2020大会への気運醸成を図ることができた。</li> <li>・「花壇コンクール」や「森の学校ドングリクラフト」、「樹木のお医者さんになろう」といった自主事業におけるイベントを、園内工事によるエリア制限の中、樹木の多いエリアなど場所を選定しながら継続的に行い、公園の魅力向上を図った。</li> <li>・新たな整備等の機会をチャンスと捉え、例えばアジアならではの南国の植栽デザインがされるような独自の工夫が園内に施されることで、東京2020大会を契機に世界中から訪れる来園者に公園のPRがされていくことを期待する。</li> </ul>
77	夢の島熱帯植物館	江東区夢の島2-1-2	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会工事に伴う園内状況の変化に対して東京都と連携をとりながら柔軟に対応し、イベント調整や適切な公園管理を行っている。</li> <li>・ホームページの開花情報を昨年度の2倍以上の67回更新し、SNSも積極的に活用した。館内の見ごろの花を紹介する広報誌を発行、外部媒体への情報掲載などを行い、来館者やホームページを見たことによる問い合わせが増えている。</li> <li>・被災地復興支援活動や季節にあわせた体験プログラム、学生を対象とした絵画、工作コンクール、環境教育普及活動など年間を通して様々なテーマで、多くの事業に取り組んでいる。</li> <li>・近年関心の高まりつつあるイースターをテーマに企画展を開催した。土曜日、日曜日はフラワーアレンジ講習など体験型の企画を行い、入館者数が例年少ない4月に、イベント期間中で前年比157.5%と増加した。</li> <li>・震災復興支援活動について（公社）日本植物園協会の特別講演会で講演を行った。活動の一つの折鶴プロジェクトについては海外植物園からも関心をもたれ、今後の情報交換やコミュニケーションを図るきっかけとなった。</li> <li>・東京2020大会工事に伴う園内状況変化の中、ホームページやSNS等の積極的活用による情報発信や各種イベントにより来館者の減少を最低限に抑えていることは評価したい。</li> <li>・良好な管理運営とともに、来館者数は目標を5%以上超えて達成しており、来館者の減少を抑える努力が感じられる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会工事に伴う園内状況変化に対して東京都と連携をとりながら柔軟に対応している点は非常に高く評価できる。東京2020大会準備への対応とともに着実な維持管理を行いつつ、東京2020大会開催時以降に大々的な事業効果を発揮されるような計画を練っていくことを期待する。</li> <li>・アーチェリー会場や護岸整備など東京2020大会に向けた工事が行われており、来園者数の増加が期待できない中でも各種イベントを積極的に実施しており、また、そうした状況においても熱帯植物館については一定の入館者数を確保している。</li> <li>・東京2020大会の会場となる公園であり、広い範囲で工事が行われていることから、公園としての魅力を発揮しにくい状況にある。そのような中で様々な魅力向上の努力がされている。</li> <li>・いずれの施設においても、東京2020大会工事に伴う園内の状況変化に的確に対応し、適切かつ柔軟にイベント調整や公園の管理運営を行っている点は評価できる。</li> <li>・マリナー、スポーツ施設、展示館等の園内施設との連携、一体的な取組により、本公園全体の発信力を高めていくことを期待する。</li> </ul>



平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 潮風公園・台場公園（指定管理者：東京臨海副都心グループ 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
78	潮風公園	品川区東八潮	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園内での占有権を主張していた不適正利用の滞留者に対して、昨年度から引き続き、東京都と連携して是正に向けた指導を実施した。現場には本社職員も参加し、自立支援に向けた巡回相談を丁寧に行った結果、滞留者本人が自立し、公園の適正化が図られた。</li> <li>例年好評の門松づくり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場公園としてスポーツに親しむ取組のしおかぜスポーツ事業、お台場海浜公園に場所を移し開催したランニングイベント等、整備工事で公園エリアが縮小している中でも、開催場所の変更や海上公園と連携し、公園の魅力向上に寄与している。工事の進捗に伴い園内状況が変化する中で、適切かつ柔軟に対応し、東京2020大会の気運醸成、利用者満足度の向上に努めている点は評価に値する。</li> <li>利用者満足度調査の結果が多くの項目で前年度を上回っていることは評価できる。</li> </ul>
79	台場公園	港区台場一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹木匠による定期的な観察を行っているオオシマザクラは、日本樹木匠会から「健康優良樹」として選定され、外部から樹木維持管理の取組を高く評価された。良好な管理運営がされているものであり、評価できる。</li> <li>歴史や史跡の紹介など公園の魅力を広くPRする「史跡パネル展」を引き続き実施した。台場公園が日本城郭協会による続100名城として選定されたことを受け、ホームページや紹介ブースの内容を充実させ、多くの都民に文化財に触れる機会を提供した。</li> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、外国人向けの歴史解説、SNSでの情報発信などが充実されることを期待する。</li> <li>台場史跡パネル展や雪吊りといったイベントを継続的に行っているが、これらに加え、今後より一層の公園の特性を踏まえた魅力向上の取組が実施されることを期待する。</li> <li>自主事業の取組として、ゴミ拾いイベントを継続的に行っているが、これに加え、多様な主体と連携した取組を更に充実させるなど、今後より一層の公園利用の促進が図られることを期待する。</li> <li>台場公園単体ではないものの、臨海副都心地域が観光旅行サイトのトリップアドバイザーにおいて、5段階中の4段階の評価を獲得し、エクセレンス認証を受けたことは評価できる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備事業が行われる中、フォトコンテストなどの新しい企画や出前授業を取り入れるなどの工夫がみられる。こうした取組の企画力や工夫を東京2020大会開催時以降の管理運営にも活用されることを期待する。</li> <li>旅行口コミサイトでも高評価を得ており、日頃の地道な施設維持管理業務の成果といえる。今後とも、海辺の公園の特性を最大限生かした魅力向上に努められたい。</li> <li>都内有数の観光地である臨海地域に立地する公園としてのポテンシャルを活かし、来園者数がさらに増大されることが望まれる。多様な施設がある中ではあるが、公園の存在感を発揮させ、他の都立公園を牽引するような賑わいのある公園への努力に期待したい。</li> <li>潮風公園は、東京2020大会のビーチバレー会場や護岸整備工事が実施されており公園の利用が制限されている中、利用者満足度が向上しており、評価できる。</li> <li>一方、台場公園は、歴史的資源を活用した取組が更に強化されることが望まれる。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 横網町公園（指定管理者：公益財団法人東京都慰霊協会 指定期間：平成28年4月～平成33年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
80	横網町公園	墨田区横網二丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「重点点検箇所マップ」に基づき、樹木や遊具等を事故発生の要因がないかという視点で点検する巡回を毎日実施し、利用者への事故の未然防止に努めている。</li> <li>・園内に慰霊堂等の施設があり、多くの来園や集会が行われることがあるが、都との連携のもと適切に対応している。引き続き、慰霊堂及び復興記念館の施設管理と公園の管理が適切、丁寧に行われることを期待する。</li> <li>・自主事業「首都防災ウィーク」では、「震災と公園緑地の今～発災・防災・復興～」をテーマに、最新事例を取り入れた講演と意見交換を行った。また、東北復興と首都防災をテーマにした「防災フォーラム」を開催し、2日間で約2,100名の参加者があった。地域における横網町公園の存在意義を伝え、震災時における公園緑地の効果と存在意義を伝えることができた。自主事業等で更なる公園の魅力アップが図られることを期待する。</li> <li>・季節ごとに日本の伝統を再現した和の季節感づくり（鯉のぼり揚げ、七夕、雛祭り等）に貢献し地域との交流を深めた。</li> <li>・子供たちへの震災・戦災教育に力を入れていることは、重要な取組であり評価できる。</li> <li>・外国人来園者向けに案内ガイドの多言語化の取組等、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた情報提供の充実も進めている。</li> <li>・震災と戦災の記憶を継承する地道な取組を続けており、今後とも慰霊の場に相応しい環境づくり、雰囲気づくりに努められたい。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京臨海広域防災公園（指定管理者：西武造園㈱・㈱NHKアート共同体 指定期間：平成28年4月～平成32年1月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
81	東京臨海広域防災公園	江東区有明三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇面積を徐々に増やし、安らぎのある空間を生み出している。国営公園と一体となった特殊な形態の公園であるが、公園としての一体感を植物管理で行うことによる風格づくりの検討に期待する。</li> <li>・セアカゴケグモが園内で発見された際、園内の見回りや保健所への連絡など、迅速な初動対応を行い、大きな混乱を未然に防いだ。また、プレス発表のための情報提供や園内周知など、都の要請に的確に対応した。</li> <li>・草刈り作業中に防護ネットを越えた飛び石が運送会社のトラックの窓ガラスを破損した。作業中の安全管理体制が不十分であった。飛び石防止は公園維持管理の基本中の基本であり、飛び石事故の再発防止を徹底されたい（事故を受け、防護ネットを二重にするほか、飛び石を抑えるよう草刈刃の使用を変更するなど、再発防止策を講じている。）。</li> <li>・防災週間に合わせて「ぼうさいモーターショー」を開催。警察・消防・米海軍などと協力し、防災関係車両を展示した。また、警視庁航空隊協力のもと、救助ヘリを新たに展示した。リピーターが多く定着したイベントながら、新たな試みを積極的に企画しており、これらのイベントにより入園者が拡大し、7年連続増加していることは評価できる。</li> <li>・都民協働について、ちびっこ相撲のイベントでは参加年齢を引き下げた結果、昨年より倍近い参加者が集まり、公園の認知度を向上させた。また、気球体験イベントでは、主要動線にコーンを設置し迂回を促したり天候状況を注視しながら安全確保を最優先にしつつ、希望者全員の搭乗を実現した。他にも航空スポーツ教室など充実したイベント内容を企画した結果、参加者が前年度比130%となった。</li> <li>・広域防災拠点に相応しい各種防災訓練やイベントを継続的に開催し、地域の防災意識向上に寄与している。</li> <li>・広大な空間を活用した、防災を含む各種イベントの開催に積極的に取り組んでいる。都民協働による花でいっぱい園地づくりなど、地域との連携による管理も行っている。</li> <li>・国営公園と一体管理であり、広域防災に特化した特殊な公園である。設立趣旨を見失うことなく、非常時に防災拠点として展開されることを最優先に考えた管理運営を続けていかれることが望まれる。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京都動物園（指定管理者：公益財団法人東京動物園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月） （※葛西臨海水族園のみ平成28年4月～平成35年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
82	恩賜上野動物園	台東区上野公園	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>扉の施錠忘れにより管理用通路内に出てきたゴリラにより職員が負傷する事故が起きた。再発防止の徹底を図りたい。</li> <li>6月に誕生した子パンダの公開における12月からの抽選方式及び2月からの整理券方式実施に当たり、人員体制を整え、適正な人員配置を行ったことで大きな混乱もなく園の運営を行っており、都や警察・消防とも連携しながら良好な管理ができています。</li> <li>また、米国、インドネシア、中国等の動物園に職員を派遣し、海外先進技術の導入に努めたほか、各種国際会議に職員を派遣し、海外とのネットワーク構築や新たな知見・技術、新規動物の導入などに貢献した。</li> <li>庁有車において、車両の破損及びフェンス等の物損事故が計5件発生しており、管理体制が不十分であるといえる（各園で事故が頻発したことから、再発防止策を作成し、安全運転の徹底を図っている。）。</li> <li>子パンダ公開に係る関連イベントとして、「赤ちゃんの名前募集」「名前お披露目会」「パンダフルウィーク2017」を子パンダ一般公開前に実施し、子パンダ一般公開の期待感の醸成に努めた。</li> <li>ジャイアントパンダ、ニシゴリラ、アイアイ、ニホンアマガエルの繁殖に成功しており、飼育技術の高さは大変評価できる。また、昨年度に生育した世代のライチョウが産卵した卵からの人工孵化・育成に成功した。</li> <li>7月に完成した「子ども動物園すてっぷ」を積極活用し、小学生を対象としたテーマ別体験講座の実施等子どもの年齢に合わせた様々な教育プログラムを実施した。従来のふれあい体験をメインとした形態に比べ、プログラム面や動物のストレス軽減などの点で進んだ施設となっており、動物とのふれあい方を学ぶプログラムの更なる展開などの今後の発展に期待する。</li> <li>ジャイアントパンダ公開により、利用者数目標390万人を60万人上回る450万人が来所しており、非常に高く評価できる。</li> </ul>
83	多摩動物公園	日野市程久保六・七丁目、南平八丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁有車において車両の破損及びフェンス等の物損事故が計3件発生しており、管理体制が不十分であるといえる（各園で事故が頻発したことから、再発防止策を作成し、安全運転の徹底を図っている。）。</li> <li>8月の土日とお盆期間に開園時間を3時間延長する「サマーナイト@TamaZoo」を昨年度と引き続き実施したが、「世界ゾウの日」関連イベントやミステリーツアー等の新たなイベントを実施することにより、昨年度より1万人以上来園者が増加した。</li> <li>ユキヒョウ、チーター、モウコノウマ、ゴールデンターキン、マレーバク、キリン、トキ、クロツラヘラサギ等希少動物の飼育下繁殖に成功した。また、オガサワラシジミでは1年を通じた類代飼育や人工飼育による幼虫の育成に成功している。環境省が進める保護増進事業への協力として、アナカタマイマイを導入した。</li> <li>また、動物の特性を生かした魅力的な展示プログラムが工夫されている。</li> <li>園内各所で整備工事が行われている中で、目標を上回る97.8万人を達成しており、夜間開園や様々なイベント開催の努力によるものと評価できる。また、希少生物の繁殖など都立公園の役割を果たしている。</li> <li>多摩丘陵の骨格を形成する公園として、動物園の運営管理に加え、多摩動物公園マネジメントプランにおいて「環境共生・保全ゾーン」とされている樹林地の管理についても、しっかりとした計画に基づいた保全の取組を期待する。</li> </ul>
84	葛西臨海水族園	江戸川区臨海町六丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁有車において、車両の破損事故が1件発生しており、管理体制が不十分であるといえる（各園で事故が頻発したことから、再発防止策を作成し、安全運転の徹底を図っている。）。</li> <li>昨年度好評だった「Night of Wonder」の開催日数を4日から6日に増やし、工夫を凝らしたイベントを実施した。その結果、昨年度2千名程度の参加者が1万名程度と増加した。</li> <li>生息域外の飼育繁殖に取り組んでおり、保全対象種であるゼニタナゴで計212個体の生育に成功している。</li> <li>フィールドプログラム「東京の海を知る」ではハゼ釣りを通じた食育プログラムを実施し、好評を得た。また、小学生向けに「食べる」をテーマにした団体プログラムを提供し、海と人とのつながりについて伝えることができた。身近な環境の中の生き物を知り、また東京湾を取り巻く環境問題に気付くことのできる良い機会であり、より一層の充実を期待する。</li> <li>飼育が困難な極地や深海の生物を採集し展示を充実させていること、また、移動水族館事業において訪問先の施設等にあわせて既存プログラムを見直すなど、常により良いプログラムを提供できるよう改善を図っている点は高く評価できる。</li> <li>入園者数について、148.5万人とほぼ目標達成水準であり、施設の老朽化もある中での努力が感じられる。海外の水族館と連携して、希少種の保全に取り組んだことは高く評価できるが、庁有車による事故が発生しており、より一層の努力が望まれる。</li> </ul>

85	井の頭自然文化園	武蔵野市御殿山一丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁有車において、車両の破損事故が1件発生し、管理体制が不十分であるといえる（各園で事故が頻発したことから、再発防止策を作成し、安全運転の徹底を図っている。）。</li> <li>・ 昨年度に引き続き「ヤマネコ祭2017」を開催した。開催期間中の実施イベントを昨年度の12件から18件へ増やし、更なるプログラム充実に努めた。</li> <li>・ 井の頭公園100周年記念イベントにおいて、写真展、絵本、モルモットコーナー、スタンプラリー、移動水族館の実施やツシマヤマネコ大型エアドームの設置を行い、100周年を大いに盛り上げた。また、要人視察等の突発対応にも全面的に協力した。</li> <li>・ 新たに開始した飼育職員が動物にエサを与えながら解説を行うプログラムは、来園者の好評を得ており、エサの時間を通じて行動的な動物の姿や生態を伝える取組として評価できる。</li> <li>・ 彫刻館でのアートや音楽イベント、「いきもの広場」での身近な生き物観察の機会や生き物情報の提供、園内の花の見ごろを伝える「花ごよみ」の発行などは、小さいながらも園名にある「自然文化」にふさわしい取組であり、井の頭自然文化園の魅力を発信する取組の更なる実施を期待する。</li> <li>・ 地元企業等との連携による積極的なイベント開催や精力的なPRにより、入園者数は目標を上回る86.4万人を達成しており、高く評価できる。一方で庁有車事故が発生しており、一層の努力が望まれる。</li> </ul>
グループ全般				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 希少動物の繁殖に向けた取組によりパンダ等の繁殖を実現し成果を出していることは高く評価できる。恩賜上野動物園においては、来園者の急増にも的確に対応したことも評価できる。</li> <li>また、多摩動物公園はゾウ舎、ライオンバス、無料休憩所等の整備工事の影響にもかかわらず入園者を確保していることは評価できる。</li> <li>・ ジャイアントパンダをはじめ稀少野生生物の保全に関する実績をそれぞれの園であげていることは大いに評価できる。今後の継続的な取組を期待する。</li> <li>一方、恩賜上野動物園のゴリラ舎事故をはじめ、車両に関する事故が各園で発生しており、来園者、職員を問わず安全確保の徹底が望まれる。</li> <li>・ 4園に共通して庁有車の事故が発生していることは、個々の職員の技量の問題を超え、業務の中に事故を誘発する原因が潜んでいる可能性も考えられる。重大な事故につながる前に、徹底した再発防止策が検討されることが望まれる。</li> <li>・ 各動物園、水族園において、高度な飼育繁殖技術をもって希少動物の保全・繁殖及び普及啓発に積極的、効果的に取り組んでおり、生物多様性保全の拠点として着実に成果をあげている。一方で、展示動物による職員負傷事故や庁有車破損事故が発生しており、組織をあげて再発防止の徹底を図られたい。</li> </ul>

平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 東京都霊園（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成38年3月）				
No.	施設名	所在地	総合評価	評価内容
86	青山霊園	港区南青山二・四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者が異なる3区画を一体使用していた墓所について、墓所の承継相談を機に本来の状態に是正するよう根気よく指導を行い、不適正使用を解消した。</li> <li>・園内のサクラについて、開花時期に一斉調査を行い、調査データを更新した。調査管理表やサクラマップの作成を行ったことで、青山霊園のシンボルであるサクラを保全し、霊園の魅力アップに繋げることができた。</li> <li>・墓所間で成長した実生木の状況を調査し、両方の墓所使用者に是正を呼びかける文書を送付した。</li> <li>・新規の取組として、近隣インターナショナルスクールの児童による清掃奉仕活動を受け入れた。希望により今後毎月1回行い、清掃活動に留まらず、著名人墓所等を活用し諸外国との交流の歴史や葬送文化の違いなどを学ぶ機会を提供することとしており、今後の近隣学校との交流事業の展開に期待する。</li> <li>・樹木による墓所被害を未然に防ぐ取組や樹木や雑草の管理が行われていない墓所を是正する取組を地道に進め、着実な成果をあげている点は評価できる。</li> </ul>
87	谷中霊園	台東区谷中七丁目、上野桜木二丁目	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度から谷中霊園で実施している実生木に関する啓発活動（幼木展示、啓発ポスター・チラシの作成、墓標日常管理啓発）で培ったノウハウを区内4園に還元し、谷中霊園のみならず他の3園でも将来的な不適正使用墓所の発生抑制、静謐な墓参環境の維持に繋げることができた。</li> <li>・観光で訪れる人が多い谷根千にある地域性を踏まえ、日暮里駅から管理所までのルート案内リーフレット作成、ホームページでの公開等、サービスの向上に努めた。墓参者以外の来園者対策をさまざまに展開したことは高く評価する。</li> <li>・夏目漱石墓所が谷中霊園にあると誤って訪問する外国人が多いため、雑司ヶ谷霊園の墓所まで英語と日本語の2種類の案内リーフレットを作成して管理所で配布した。</li> <li>・かつて谷中界隈のシンボリック的存在であった天王寺五重塔の1/50の模型を作成し、管理所内に展示するとともに五重塔跡地までの案内を掲示して園内の歴史資源の情報を発信した。</li> <li>・積極的な啓発活動により、不適正墓所の発生を抑制したことは評価できる。</li> <li>・寺町風情を活かした季節感の演出や墓参用バッグの貸出、最寄駅からの案内リーフレットの作成など、利用者目線に立ったサービスを充実させている点は高く評価できる。</li> </ul>
88	雑司ヶ谷霊園	豊島区南池袋四丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適正使用墓所について、使用者に強く働きかけ、施設変更制度を利用してもらうことで、不適正使用の解消ができた。</li> <li>・2つの墓所の中間にある大径化した支障木について、管理所が仲介役となり、両使用者と費用分担等について粘り強く協議し、当該樹木を伐採した。</li> <li>・東京メトロ東池袋駅の出口案内板へ雑司ヶ谷霊園が表示された。平成26年度から複数回交渉した結果実現した。</li> <li>・墓所の地図である切図をデータ化し、墓所状況を的確に把握できるようにしたことで、使用者からの問い合わせの際も確認の時間が大幅に減り、迅速に対応可能となったことは評価できる。</li> </ul>
89	染井霊園	豊島区駒込五・七丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者の異なる2墓所を一体的に使用している墓所に対し、5年にわたり粘り強く是正を促し続けてきた結果、承継予定者が親族外であるなど困難な承継案件であったが、無事解決することができた。</li> <li>・車いすの墓参者が手桶を持つことが大変なため、車いすの背もたれに手桶を掛けられるS字フックを用意した。ユニバーサルデザインを意識した取組を進め、快適な墓参環境を創出している点は評価に値する。</li> </ul>

90	八柱霊園	千葉県松戸市田中新田、紙敷、松飛台、河原塚、日暮	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクラの品種の同定方法等について研鑽を積むことを目的とし、東部公園緑地事務所管内の霊園において初めて維持管理職員の共同作業形式による観察会を開催した。樹木管理に必要な専門知識やノウハウを共有することで、各霊園の魅力アップに繋げることができた。将来を見据えて墓参者の心に残る桜の景観づくりを地道に進めており、評価に値する。</li> <li>・献花式について、平成28年度の検討事項及び開催日が日曜のため参列者の増加を予想し準備した。昨年から1.6倍の750名の参列者があったが、整然と行うことができた。</li> <li>・園内8箇所のトイレに掲示板を設置し、お知らせやマナー啓発、置き引き等の注意喚起の情報や園内の花の開花情報等を掲示した。</li> <li>・自然観察会や雪吊り体験を通して地域に親しまれる霊園づくりを実践したことは評価できる。</li> </ul>
91	八王子霊園	八王子市元八王子町三丁目、川町	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノシシ対策では、学習してくり異にかかりにくくなったため、センサーカメラを設置して出没箇所を割り出して罾を設置したことで、イノシシが警戒して近寄らなくなった。その捕獲数こそ前年を下回っているが（28年度10頭 29年度2頭）、工夫を凝らした対応により、芝生に対する被害は着実に減少し、利用者への安全確保の目的を達成している。</li> <li>・芝生火災対策として標語を刷新した横断幕を作成し、園内12か所に掲示したほか、彼岸時に運行する「らくらく墓参バス」にもステッカー表示を行い、平成29年度芝生火災は0件となったことは大変評価できる。</li> <li>・秋彼岸前に園内10か所のゴミ箱を新型に交換し、「ゴミ持ち帰り」を表記したステッカーを掲示して啓発を図り、25%のゴミ減量を果たした。</li> <li>・石材店組合が無い中で、クリーンキャンペーンを企画し石材店の参加の協力を得られていることは評価に値する。管理所前に「憩いのスペース」を設置し、水鉢、竜安寺垣や木道など季節に応じた修景を提供している。</li> <li>・お彼岸時の限られた期間ではあるが、「らくらく墓参バス」の園内巡回サービスは、利用者認知され利用率も向上し利便性を向上させている。来園者サービスが着実に進められていると考えられ、評価できる。</li> </ul>
92	多磨霊園	府中市多磨町四丁目、小金井市前原町一丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みたま堂の経年劣化が懸念される中、着実なメンテナンスにより、利用者への不便を最小限にするよう努めている。地下部への浸水という不測の事態が生じたが、迅速な対応は評価できる。建物自体の劣化状況を把握した良好な管理運営がなされており、今後も予防保全的対応を期待する。</li> <li>・園内156箇所の下げ花置場に番号を付し、看板を設置したことで位置をすぐに特定でき案内しやすくなった。また、番号マップを消防と警察に提供し、事故や事件の際、現地に急行できるようになった。</li> <li>・献花式では待ち時間短縮のため、式終了後に焼香を行うよう次第を変更した結果、式を90分から60分に短縮できたほか、テントや椅子を増やしたり、身体障がい者等のフリースペースや更衣スペースを設ける等、要望に応じている。</li> <li>・霊園の歴史や自然、著名人墓所の情報を盛り込んだ英語版リーフレットを作成し、周辺の東京外国語大学や府中市観光案内所に配布し、外国人観光客の対応充実を図った。</li> </ul>
93	小平霊園	小平市美園町三丁目、東村山市萩山町一丁目、五丁目、東久留米市谷柳窪三丁目	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラを有効に活用することにより、不法投棄についても警察との連携を図り摘発や抑止に効果を上げている。芝生火災予防のため、彼岸時にチラシ配布、防火幟の一新、線香トレイをステンレス製に変更したほか、東村山消防署による消防訓練を実施し、安全安心な墓参環境をつくっている。</li> <li>・下げ花置場へのゴミ不法投棄対策として来園者、工業者、墓参者、石材店組合に早朝の啓発チラシ配布や防犯カメラ設置等を行い、可燃物処理が25%減少した。</li> <li>・合葬埋蔵施設の献花式においては、高齢の参加者も多い中円滑に式を進めている。また、多様な埋葬形式を持つ小平霊園は、全国から多くの視察を受けており、それぞれの墓地管理者に知見や課題を伝えている。墓所管理における先駆的な霊園であることの自覚を持ち、今後も啓発に力を入れることを期待する。</li> <li>・都の整備工事で7か所の集積場（下げ花置き場）が設置されたことを受け、竹の間伐材を用いて外観を向上させる等、園内美化の向上を図っている。</li> <li>・防災トイレの導入要望を市に行い、2基の提供を受けたことに伴い、全職員及び近隣石材店を対象に防災トイレ設置訓練を実施し、霊園のもつ広域避難場所としての役割を共有して認識することができた。</li> </ul>

<p>グループ全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園協会霊園課において、他の使用者の「東京都立霊園管理料預金口座振替依頼書」を別の使用者に送付するという個人情報にかかる不適切な取扱いがあった。今後同様の事案が発生しないよう、再発防止策の徹底が望まれる（チェック体制の厳重化、職員への個人情報保護に関する研修の実施等の再発防止策を講じている。）。</li> <li>・各霊園での不適正墓所是正が進んでおり地道な努力の成果と高く評価する。墓所間実生木をはじめ、支障木の処理、景観木の保護など安全・快適で静謐な環境の維持が進んでいる。</li> <li>・谷中霊園における実生木対応や外国人観光客への多言語化対応など適切な管理が評価できる。また、ごみの減量化の取組が成果を出しており評価できる。</li> <li>・著名人の墓を訪ねることを目的とした来園者や外国人観光客の増加に対する対応や、犯罪行為が行われた場合の対策など、従来は想定していなかった事態が発生している。一方で、墓所利用者は静謐な環境を望んでいると思われ、調整に苦慮することもあるかと考えられるが適切な対応が望まれる。</li> </ul> <p>また、サービスの向上は当然のこととして、墓所利用者の管理、管理料等徴収、墓所承継などに、漏れが無いよう確実な業務遂行を図られたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各霊園において、それぞれの施設の特性を踏まえた利用者サービスの拡充、安全で快適な墓参環境の向上が図られている。窓口業務全般においては、膨大な個人情報を厳正に取扱い、公平・公正・正確な処理が行われているが、口座振替依頼書の誤発送を発生させたことを重く受け止め、再発防止の徹底を図られたい。</li> </ul>
---------------	--



平成29年度指定管理者管理運営状況評価 評価結果一覧（都市公園等）

○ 瑞江葬儀所（指定管理者：公益財団法人東京都公園協会 指定期間：平成28年4月～平成31年3月）				
	施設名	所在地	総合評価	評価内容
94	瑞江葬儀所	江戸川区春江町三丁目二十六番一号	A+	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火葬業務前後の火葬炉設備点検による早期の異常発見、予防的修繕のための部品交換等、設備を適切な状態に保つことに細心の注意を払っており、火葬炉の稼働率がほぼ100%となるなど、安定的な火葬業務を行っている。</li> <li>・通算7年にわたり「優良防火対象物」の認定を継続した功績により、消防庁から表彰状を授与された。安全管理で実績を重ねた結果と考えられ評価できる。今後も安全な火葬業務の継続が望まれる。</li> <li>・ご遺族の意向に沿って暖色・白色が切り替えられるよう所内照明のLED化の実施、車イスを利用される方が増加傾向であることを踏まえボランティアによる職員のスキルアップ研修（障がい者ガイド体験）の実施、ご遺族の心情に寄り沿った対応を行うための心がけのマニュアル化など、利用者の立場でサービス改善を行っている。</li> <li>・火葬時の黒煙や排気ガスについて地元町会へ丁寧に説明し、町会行事にも協力するなど信頼関係の構築に努めた。協働による花壇管理や地域の防災訓練にも協力している。また、不審物発見時対応訓練などの協働事業を実施するための協議を行うなど警察との連携を強化している。</li> <li>・お別れホールで行う焼香に使用する香炉を、豆炭利用から電気式に変更し、安全性が向上した。</li> <li>・小松川警察署からの要請に応じて、米国大統領来日に伴う警備協力として駐車場の一部を警備車両に提供した。このことに対し、感謝状を授与された。</li> <li>・火葬設備を常に万全な状態に維持して安定的な稼働を継続し、円滑かつ確実に火葬業務を遂行し続けている。あわせて、ご遺族の心に寄り添ったサービスの提供や施設内の雰囲気づくりなどがきめ細やかに行われている。</li> <li>・質の高いサービスを心掛け、様々な改良、職員研修の徹底など常にご遺族の心情に寄り添った運営を心がける姿勢は高く評価する。</li> <li>・限られたスペースを活用してのご遺族へのサービス、古い設備に対処する技術向上などの努力が積み上げられている。施設の特性上困難さはあると考えられるが、利用者の声を広く捉えるしくみについて検討され、更なる利用者サービスの向上につなげていくことを望みたい。</li> </ul>